



Cisco UCS C220 M8 SFF ラック サーバ

このマニュアルの印刷版は単なるコピーであり、必ずしも最新版ではありません。最新のリリースバージョンについては、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/datasheet-listing.html>



CISCO SYSTEMS
170 WEST TASMAN DR
SAN JOSE, CA, 95134
WWW.CISCO.COM

発行履歴

改訂 A.04 2025 年 5 月 9 日

目次

概要	2
詳細図	3
シャーシの詳細な正面図	3
シャーシの詳細な背面図	4
3つのハーフハイト ライザー	5
2つのフルハイト ライザー	6
サーバ本体の標準機能と特長	7
サーバの構成	10
ステップ 1 サーバ SKU を選択する	11
ステップ 2 ライザーを選択する (必須)	12
ステップ 3 CPU を選択する (必須)	13
ステップ 4 メモリを選択する (必須)	16
メモリ構成と混合ルール	18
ステップ 5 ドライブ コントローラを選択する (オプション)	19
ステップ 6 ドライブを選択する (オプション)	21
ステップ 7 オプション カードを選択します (オプション)	24
オプションの PCIe オプション カード アクセサリを選択する	27
ステップ 8 GPU カードを選択する (オプション)	28
ステップ 9 M.2 ブート RAID コントローラと SATA SSD を注文する (オプション)	29
ステップ 10 電源装置を発注する (必須)	31
ステップ 11 入力電源コードを選択する (必須)	32
ステップ 12 ツールレス レール キット (必須) とリバーシブル ケーブル マネジメント アーム (オプション) を発注する	36
ステップ 13 管理設定を選択する (オプション)	37
ステップ 14 セキュリティ デバイスを発注する (必須)	38
ステップ 15 ロックキー付きセキュリティ ベゼルを選択する (オプション)	39
ステップ 16 オペレーティング システムとサードパーティ ソフトウェアを選択する	40
ステップ 17 CISCO INTERSIGHT	48
参考資料	50
PCIe ポートの割り当て	50
シリアル ポートの詳細	50
KVM ケーブル	51
技術仕様	52
寸法と重量	52
電源仕様	53
コンプライアンス要件	57

概要

Cisco UCS C220 M8 SFF ラック サーバは、Intel®Xeon® スケーラブル プロセッサ、最大 128 GB の DIMM キャパシティを指す DDR5-6400 メモリ DIMM 用 CPU あたり 16 DIMM スロットを使用して、Cisco のユニファイドコンピューティング システム ポートフォリオの機能 1U フォーム ファクタで拡張します。

Cisco UCS C220 M8 SFF ラック サーバは、最新の Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサの能力を活用します。

CPU : 最大 2 基の Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサ。プロセッサあたり最大 86 個のコア。

メモリ : 32 x 256GB DDR5-4800 DIMM で最大 8TB (Intel® Xeon® 6 スケーラブル プロセッサ)。

サーバには、次のいずれかの内部スロットがあります。

- SAS/SATA/NVMe ドライブを制御するためのキャッシュ バックアップを備えた Cisco 24G トライモード RAID コントローラ、または
- SAS/SATA/NVMe を制御する Cisco 24G トライモード パススルー HBA

mLOM : UCS C220 M8 SFF ラック サーバには、単一の統合 1GBe 管理ポートがあります。モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) / OCP 3.0 スロットは、10GbE から 200GbE までのさまざまな接続オプションを提供します。

Cisco UCS C220 M8 SFF ラック サーバは、スタンドアロン サーバまたは Cisco Unified Computing System の一部として使用できます。Cisco Unified Computing System は、コンピューティング、ネットワーキング、管理、仮想化、およびストレージ アクセスが統合されたアーキテクチャであり、ベアメタル環境と仮想化環境両方におけるエンドツーエンドのサーバの可視化、管理、制御を可能にします。

UCS C220 M8 SFF ラック サーバの前面図と背面図は [図 1](#)、[\(2 ページ\)](#) を参照してください。

図 1 Cisco UCS C220 M8 SFF ラック サーバ

正面図



背面図 (3 つのハーフハイト ライザー カード バージョン)



背面図 (2 つのフルハイト ライザー カード バージョン - ライザー ブランクを取り付けた状態)

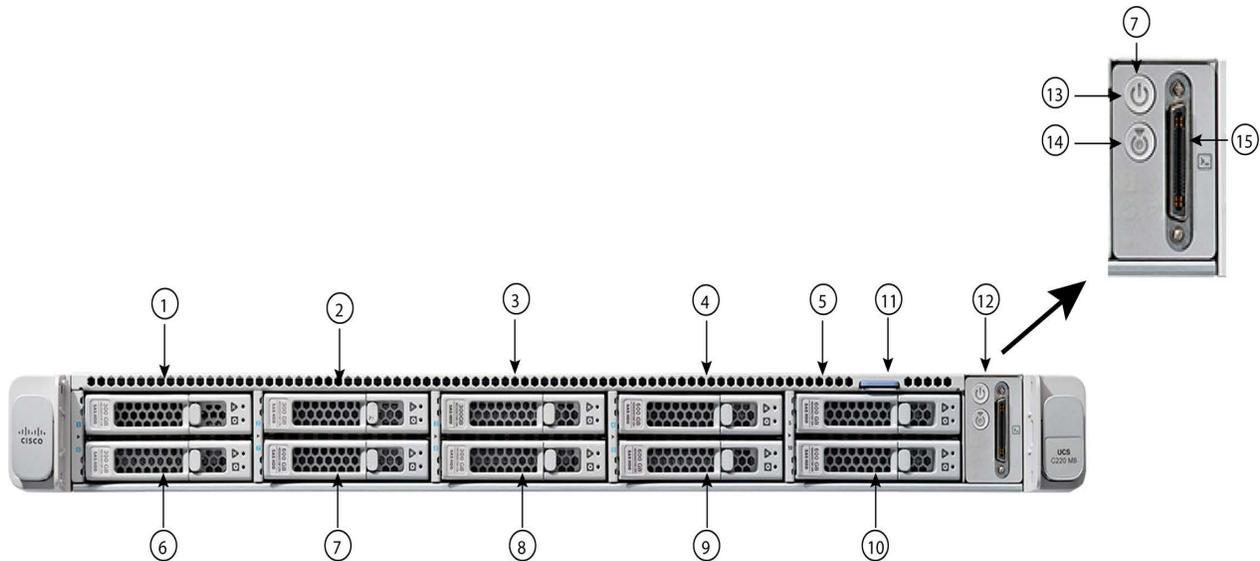


詳細図

シャーシの詳細な正面図

図 2 は、サーバの詳細な正面図を示します。

図 2 シャーシの詳細な正面図



1 ~ 4、 6 ~ 9	ドライブ ベイ 1 ~ 4、6 ~ 9 は、SAS/SATA ハードドライブおよびソリッド ステートドライブ (SSD)、トライモード コントローラを搭載した U.3 NVMe、または直接接続 NVMe をサポートします。	13	電源ボタン / 電源ステータス LED
5、10	ドライブ ベイ 5 および 10 は、トライモード コントローラを搭載した SAS/SATA HDD またはソリッド ステートドライブ (SSD)、SSD、または U.3 NVMe のみをサポートし、 直接接続 NVMe はサポートしません。	14	ユニット識別ボタン / LED
11	資産タグのロケーション	15	KVM コネクタ (USB 2.0 2 個、VGA 1 個、シリアル コネクタ 1 個を装備した KVM ケーブルで使用)
12	コントロール プレーン	-	-

シャーシの詳細な背面図

図 3 に、3 つの背面ハーフハイト PCIe ライザーを備えた UCS C220 M8 の背面パネルの詳細を示します。

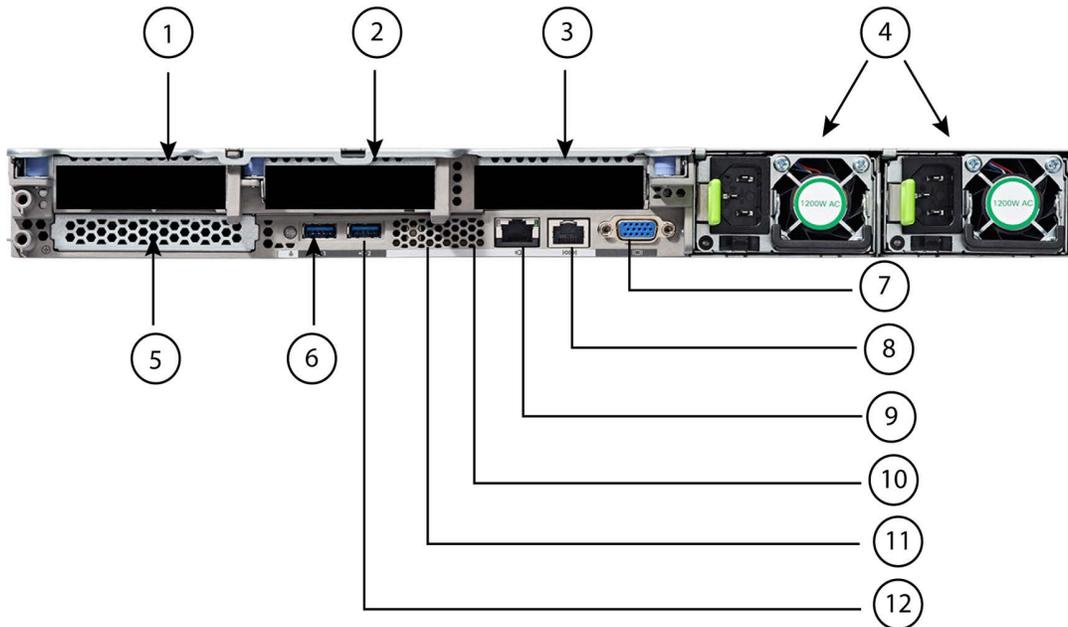
図 4 は、2 個の背面フルハイト PCIe ライザーを備えた UCS C220 M8 の背面パネルの詳細を示します。

3つのハーフ高さ ライザー



注：3つのハーフ高さ ライザーをすべてサポートするのは、2 CPU サーバのみです。

図 3 シャーシ背面図 (3つのハーフ高さ、長さ 3/4 の PCIe ライザー)



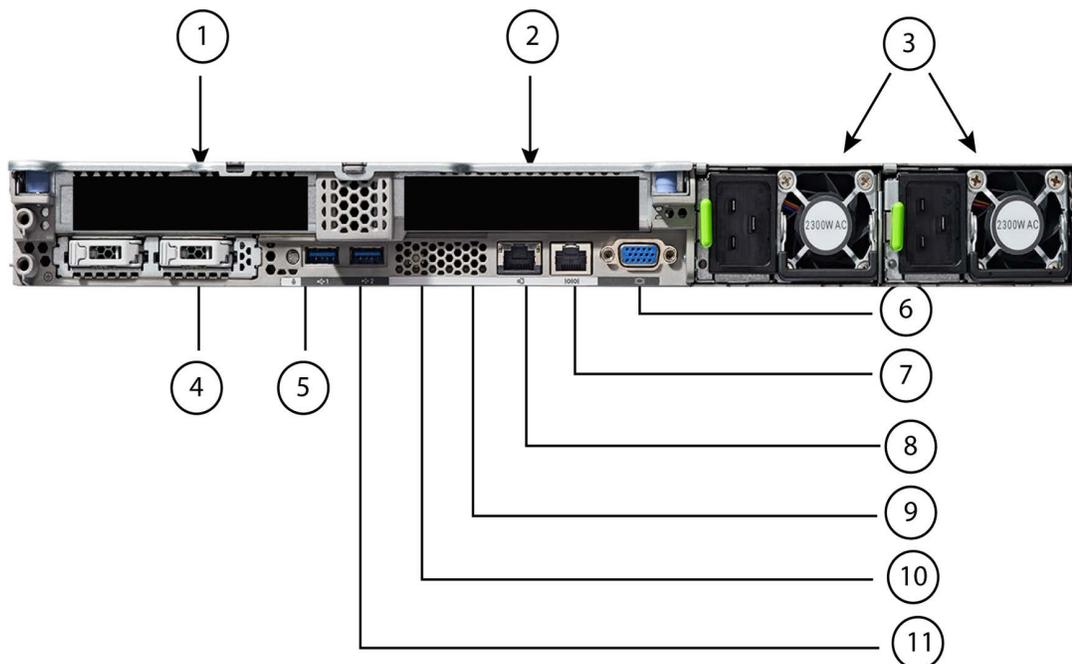
1	ライザー 1A PCIe 第 5 世代 (CPU1 制御) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1つの PCIe スロット (スロット 1) をサポート ■ スロット 1 はハーフ 高さ、長さ 3/4、x16、NCSI、シングル幅 GPU です 	6	システム ID プッシュボタン /LED
2	ライザー 2A PCIe 第 5 世代 x16 (CPU1 制御) <ul style="list-style-type: none"> ■ PCIe スロット (スロット 2 をサポートします) ■ スロット 2 はハーフ 高さ、長さ 3/4、x16、シングル幅 GPU です 	7	VGA 表示ポート (DB15 コネクタ)
3	ライザー 3A PCIe 第 4 世代 x16 (CPU2 制御) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1つの PCIe スロット (スロット 3) をサポート ■ スロット 3 はハーフ高さ、長さ 3/4、x16、NCSI、シングル幅 GPU です 	8	COM ポート (RJ45 コネクタ)
4	電源装置 (2、1+1 として冗長)	9	1GBE 専用イーサネット管理ポート
5	モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) /OCP 3.0 スロットまたはホットスワップ可能な M.2 モジュール (ドライブ ベイ 241 および 242)。	10	USB 3.0 ポート (2 個)

2つのフルハイブリッド ライザー



注：1 CPU サーバはフルハイブリッド ライザー 1 のみをサポートし、2 CPU サーバは両方のフルハイブリッド ライザーをサポートします。

図 4 シャーシ背面図 (2つのフルハイブリッド、長さ 3/4 の PCIe ライザー)



1	ライザー 1B PCIe 第 5 世代 (CPU1 制御) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1つの PCIe スロット (スロット 1) をサポート ■ スロット 1 はフルハイブリッド、長さ 3/4、x16、NCSI、シングル幅 GPU です 	6	VGA 表示ポート (DB15 コネクタ)
2	ライザー 3B PCIe 第 5 世代 x16 (CPU2 制御) <ul style="list-style-type: none"> ■ 3つの PCIe スロット (スロット 3) をサポート ■ スロット 3 はフルハイブリッド、長さ 3/4、x16、NCSI、シングル幅 GPU です 	7	COM ポート (RJ45 コネクタ)
3	電源装置 (2、1+1 として冗長)	8	1GBE 専用イーサネット管理ポート
4	モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) /OCP 3.0 スロットまたはホットスワップ可能な M.2 モジュール (ドライブベイ 241 および 242)。	9	USB 3.0 ポート (2 個)
5	システム ID プッシュボタン /LED	-	-

サーバ本体の標準機能と特長

表 1 にサーバ本体の機能と特徴を示します。サーバの構成方法（プロセッサ数、ディスクドライブ、メモリアクシリティなど）については、[サーバの構成 \(10 ページ\)](#) を参照してください。

表 1 機能および特長

機能 / 特長	説明
シャーシ	1 ラックユニット (1RU) シャーシ
CPU	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサ × 1 ~ 2 ■ 各 CPU には 8 チャンネルあり、チャンネルごとに最大 2 つの DIMM と、CPU ごとに最大 16 の DIMM があります ■ UPI リンク : 24GT/s で最大 3
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel® Xeon® 6 スケーラブル プロセッサを持つ 32 合計 DDR5-6400 MT/s DIMM スロット (CPU あたり 16 個) ■ 最大 16 個の MRDIMM 8000MT/s
ビデオ	<p>Cisco Integrated Management Controller (CIMC) は、Matrox G200e ビデオ / グラフィックス コントローラを使用してビデオを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ハードウェア アクセラレーションを備えた内蔵 2D グラフィックスコアです。 ■ 組み込み DDR メモリ インターフェイスは最大 512 MB のアドレス可能メモリをサポートします (デフォルトで 8 MB がビデオ メモリに割り当てられます) ■ 最大 1920 X 1200 16bpp、60Hz のディスプレイ解像度をサポートします。 ■ 高速な内蔵 24 ビット RAMDAC ■ 第 1 世代の速度で動作するシングル レーン PCI-Express ホスト インターフェイス
電源サブシステム	<p>以下のホットスワップ可能な電源ユニットから最大 2 つ選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1050W (DC) ■ 1200W (AC) ■ 1600 W (AC) ■ 2300 W (AC) <p>最低 1 台の電源ユニットが必須です。さらに 1 台を追加して 1 + 1 の冗長性を確保できます。</p>
前面パネル	前面パネルコントローラはステータスインジケータおよびコントロールボタンを装備しています。
ACPI	このサーバは、Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) 6.2 規格をサポートしています。
ファン	ホットスワップ可能なファン (前面から背面への冷却用エアフロー) × 8
拡張スロット	<ul style="list-style-type: none"> ■ ハーフハイト ライザー スロット (最大 3 つ選択) <ul style="list-style-type: none"> • ライザー 1A PCIe 第 5 世代 x16 HH • ライザー 2A PCIe 第 5 世代 x16 HH • ライザー 3A PCIe 第 4 世代 x16 HH (CPU2 制御) ■ フルハイト ライザー スロット (最大 2 つ選択) <ul style="list-style-type: none"> • ライザー 1B PCIe 第 5 世代 x16 FH • ライザー 3B PCIe 第 5 世代 x16 FH (CPU2 制御)

表 1 機能および特長 (続き)

機能 / 特長	説明
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 背面パネル <ul style="list-style-type: none"> • 1 つの 1Gbase-T RJ-45 管理ポート • RS-232 シリアルポート (RJ45 コネクタ) x 1 • DB15 VGA コネクタ x 1 • USB 3.0 ポートコネクタ x 2 • 各種のインターフェイスカードを搭載できるフレキシブル モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM/OCP) 3.0 スロット x 1 ■ 前面パネル <ul style="list-style-type: none"> • KVM コンソールコネクタ x 1 (USB 2.0 コネクタ x 2、VGA DB15 ビデオコネクタ x 1、シリアルポート (RS232) RJ45 コネクタ x 1 を装備)
組み込み管理プロセッサ	<p>Cisco Integrated Management Controller (CIMC) ファームウェアを実行するベースボード管理コントローラ (BMC)。</p> <p>CIMC 設定に基づき、1GE 専用管理ポートから、CIMC にアクセスできます。Cisco 仮想インターフェイスカード (VIC)。</p> <p>CIMC はサーバ内の特定のコンポーネント (Cisco 12G SAS HBA など) を管理します。</p>
内部ストレージ デバイス	<p>ドライブ ストレージ :</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 最大 10 台の SFF SAS/SATA ハードドライブ (HDD) または SAS/SATA/NVMe ソリッドステートドライブ (SSD) を搭載できます。 ■ オプションで、最大 8 台の直接接続 SFF NVMe PCIe SSD。これらのドライブは、前面ドライブベイ 1 ~ 4 (CPU 2 から制御) および 6 ~ 9 (CPU 1 から制御) に配置する必要があり、SAS/SATA ドライブと混在させることができます。ベイの残りの部分 (5 および 10) は、RAID/HBA コントローラを搭載した SAS/SATA/NVMe SSDs または HDD とともに装着できます。 <p> 注: ドライブは、SAS/SATA または NVMe ドライブ用のホットスワップ可能なアクセス機能を提供する前面パネルのドライブベイに取り付けます。</p> <p>他のストレージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ブート最適化 RAID コントローラのサポート <ul style="list-style-type: none"> • 最大 2 台の内蔵 SATAM. 2SSD、または • 背面アクセス可能なホットスワップ可能な SATA M.2 SSD (最大 2 基) ■ ファームウェアおよびその他のユーザーデータのステージング用の 8GB FlexMMC ユーティリティストレージ。8GB FlexMMC ストレージは、M8 のマザーボードに組み込まれています
ストレージコントローラ	<p>内部ストレージ コントローラ :</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 24G トライモード M1 HBA (16 ドライブ用) ■ 24G トライモード M1 RAID コントローラ (4GB FBWC 16 ドライブ対応、1U ブラケット付属)

表 1 機能および特長 (続き)

機能 / 特長	説明
モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) / Open Compute Project (OCP) 3.0 スロット	マザーボードの mLOM/Open Compute Project (OCP) 3.0 専用スロットには、次のカードを柔軟に装着できます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ Cisco 仮想インターフェイス カード ■ Open Compute Project (OCP) 3.0 ネットワーク インターフェイス カード
ファブリック インターコネクト	Cisco UCS 6454、64108 および 6536 ファブリック インターコネクトと互換性があります
CIMC	Cisco Integrated Management Controller 4.3 (6) 以降
Intersight	Intersight は、サーバ管理機能を提供します。
ファームウェア規格	UEFI 仕様 2.9 ACPI 6.5 SMBIOS Ver 3.7

サーバの構成

以下の手順に従って、Cisco UCS C220 M8 SFF ラック サーバーを構成します。

- [ステップ 1 サーバ SKU を選択するページ 11](#)
- [ステップ 2 ライザーを選択する \(必須\) ページ 12](#)
- [ステップ 3 CPU を選択する \(必須\) ページ 13](#)
- [ステップ 4 メモリを選択する \(必須\) ページ 16](#)
- [ステップ 5 ドライブ コントローラを選択する \(オプション\) ページ 19](#)
- [ステップ 6 ドライブを選択する \(オプション\) ページ 21](#)
- [ステップ 7 オプション カードを選択します \(オプション\) ページ 24](#)
- [ステップ 8 GPU カードを選択する \(オプション\) ページ 28](#)
- [ステップ 9 M.2 ブート RAID コントローラと SATA SSD を注文する \(オプション\) ページ 29](#)
- [ステップ 10 電源装置を発注する \(必須\) ページ 31](#)
- [ステップ 11 入力電源コードを選択する \(必須\) ページ 32](#)
- [ステップ 12 ツールレス レール キット \(必須\) とリバーシブル ケーブル マネジメント アーム \(オプション\) を発注するページ 36](#)
- [ステップ 13 管理設定を選択する \(オプション\) ページ 37](#)
- [ステップ 14 セキュリティ デバイスを発注する \(必須\) ページ 38](#)
- [ステップ 15 ロックキー付きセキュリティ ベゼルを選択する \(オプション\) ページ 39](#)
- [ステップ 16 オペレーティング システムとサードパーティ ソフトウェアを選択するページ 40](#)
- [ステップ 17 CISCO INTERSIGHT ページ 48](#)
- [参考資料ページ 50](#)

ステップ 1 サーバ SKU を選択する

最上位の注文製品 ID (PID) は、次のように表示されます [表 2](#)。

表 2 トップレベルの主要品目バンドル注文 PID (MLB)

製品 ID (PID)	説明
UCS-M8-MLB	UCS M8 RACK MLB このメジャー ライン バンドル (MLB) は、ソフトウェア PID を備えたラックサーバ (UCSC-C220-M8S または UCSC-C220-M8E3S) で構成されています。この PID を使用して新しい設定を開始します。

[表 3](#) で示すように製品 ID (PID) を 1 つ選択します。



注意：この型番は、承認済みバンドル以外で購入することはできません (MLB で注文する必要があります)。

表 3 ラック ベース サーバ本体の製品 ID (PID)

製品 ID (PID)	説明
UCSC-C220-M8S	<ul style="list-style-type: none"> ■ 10 ドライブ バックプレーン付き小型フォームファクタ (SFF) ドライブ。 ■ 前面ドライブ ベイ 1 ~ 10 は、取り付けられているコントローラ タイプに応じて、2.5 インチ SAS/SATA/NVMe SSD をサポートします。 ■ オプションで、前面ローディングドライブ ベイ 1 ~ 4、6 ~ 9 は 2.5 インチ直接接続 NVMe SSD をサポートしており、残りは SAS/SATA HDD または SSD にできます。

Cisco UCS C220 M8 SFF ラック サーバ。

- 10 SFF ドライブ バックプレーンを含みます。
- 電源ユニット、CPU、メモリ、ハード ディスク ドライブ (HDD)、ソリッド ステート ドライブ (SSD)、NVMe ドライブ、SD カード、ライザー 1、ライザー 2、ライザー 3、ツールレス レール キット、PCIe カードは含まれません。
- 以降の手順に従い、必要なコンポーネントをサーバに追加してください。

ステップ 2 ライザーを選択する (必須)

ライザーの PID が [表 4](#) に表示されます。



注意：フルハイトライザーとハーフハイトライザーを混在させることはできません

表 4 ライザーおよびライザー ブランクの PID

製品 ID (PID)	説明
ライザー 1 のオプション	
UCSC-RIS1A-220M8	UCS C220 M8 ライザー 1A PCIe 第 5 世代 x16 HH <ul style="list-style-type: none"> ■ ハーフハイト ライザー 1 (CPU1 で制御) ■ x16 PCIe 第 5 世代ライザー × 1、標準 PCIe、Cisco VIC、ハーフハイト、長さ 3/4 をサポート
UCSC-RIS1B-220M8	UCS C220 M8 ライザー 1B PCIe 第 5 世代 x16 FH <ul style="list-style-type: none"> ■ ハーフハイト ライザー 1 (CPU1 で制御) ■ x16 PCIe 第 5 世代ライザー × 1、標準 PCIe、Cisco VIC、ハーフハイト、長さ 3/4 をサポート
ライザー 2 のオプション	
UCSC-RIS2A-220M8	UCS C220 M8 ライザー 2A PCIe 第 5 世代 x16 HH <ul style="list-style-type: none"> ■ ハーフハイト ライザー 2 (CPU 1 で制御) ■ 1 x16 PCIe Gen5 ライザー、標準 PCIe、ハーフハイト、長さ 3/4
ライザー 3 オプション	
UCSC-RIS3A-220M8	UCS C220 M8 ライザー 3A PCIe 第 5 世代 x16 HH (CPU2) <ul style="list-style-type: none"> ■ ハーフハイト ライザー 3 (CPU 2 で制御) ■ x16 PCIe 第 5 世代ライザー × 1、標準 PCIe、Cisco VIC、ハーフハイト、長さ 3/4 をサポート
UCSC-RIS3B-220M8	UCS C220 M8 ライザー 3B PCIe 第 5 世代 x16 FH (CPU2) <ul style="list-style-type: none"> ■ フルハイト ライザー 3 (CPU 2 で制御) ■ 1 x16 PCIe Gen5 ライザー、標準 PCIe、Cisco VIC、フルハイト、長さ 3/4 をサポート
選択されたライザーとともに含まれるアクセサリ / スペア：	
<ul style="list-style-type: none"> ■ UCSC-FBRSF-220M8 は、フル ハイト ライザーが 1 つだけ選択されている場合に自動的に含まれます。 ■ UCSC-FBRS2-C220M7 および UCSC-FBRS-C220-D は、ライザー 1A のみが選択されている場合に自動的に含まれます。 ■ UCSC-FBRS-C220-D は、ライザー 1A および 2A のみが選択されている場合に自動的に含まれます。 	

動作確認済みの構成

- (1) ハーフハイトライザー 1A、2A、および 3A のみ。ライザー 1A と 2A は CPU1 から制御され、ライザー 3 は CPU2 から制御されます。
- (2) フルハイト ライザー 1B および 3B のみ。ライザー 1B は CPU1 から制御され、ライザー 3B は CPU2 から制御されます。

ステップ 3 CPU を選択する (必須)

CPU の標準機能は次のとおりです。

- 最大 86 コア
- 最大 336 MB のキャッシュ サイズ
- 電力 : 最大 350 ワット
- UPI リンク : 24GT/s で最大 3

CPU を選択する



注意 :

- 通常の動作温度が 35 °C [95 °F] に制限され、ファンの障害により 28 °C [82.4 °F] に低下します。
- CPU > 330W TDP が取り付けられている場合、通常の動作温度は 30 °C [86 °F] で、ファンの障害により 23 °C [73 °F] に低下します。

表 5 Intel® Xeon® スケーラブル CPU が利用可能

製品 ID (PID)	セグメント / ワークロード	最大ソ ケット (S)	コア (C)	クロック 周波数 GHz	電源 (W)	キャッシュ サイズ (Cache Size) (MB)	DDR5 DIMM の最大クロック (MT/s)	MRDIMM のサポート
UCS-CPU-I6787P	パフォーマンス	2S	86	2.00	350	336	6400	○
UCS-CPU-I6781P ¹	シングル ソケット	1S	80	2.00	350	336	6400	○
UCS-CPU-I6767P	パフォーマンス	2S	64	2.40	350	336	6400	○
UCS-CPU-I6761P ¹	シングル ソケット	1S	64	2.50	350	336	6400	○
UCS-CPU-I6760P	メインライン	2S	64	2.20	330	320	6400	非対応
UCS-CPU-I6747P	パフォーマンス	2S	48	2.70	330	288	6400	○
UCS-CPU-I6741P ¹	シングル ソケット	1S	48	2.50	300	288	6400	非対応
UCS-CPU-I6740P	メインライン	2S	48	2.10	270	288	6400	非対応
UCS-CPU-I6736P	パフォーマンス	2S	36	2.00	205	144	6400	非対応
UCS-CPU-I6745P ²	パフォーマンス	2S	32	3.10	300	336	6400	非対応
UCS-CPU-I6737P	パフォーマンス	2S	32	2.90	270	144	6400	非対応
UCS-CPU-I6731P ¹	シングル ソケット	1S	32	2.50	245	144	6400	非対応
UCS-CPU-I6730P	パフォーマンス	2S	32	2.50	250	288	6400	非対応
UCS-CPU-I6530P	メインライン	2S	32	2.30	225	144	6400	非対応
UCS-CPU-I6728P	ソケット スケーラブル	4S	24	2.70	210	144	6400	非対応

表 5 Intel® Xeon® スケーラブル CPU が利用可能

製品 ID (PID)	セグメント / ワークロード	最大ソ ケット (S)	コア (C)	クロック 周波数 GHz	電源 (W)	キャッシュ サイズ (Cache Size) (MB)	DDR5 DIMM の最大クロック (MT/s)	MRDIMM のサポート
UCS-CPU-I6527P	パフォーマンス	2S	24	3.00	255	144	6400	非対応
UCS-CPU-I6521P ¹	シングル ソケット	1S	24	2.60	225	144	6400	非対応
UCS-CPU-I6520P	メインライン	2S	24	2.40	210	144	6400	非対応
UCS-CPU-I6511P ¹	シングル ソケット	1S	16	2.50	150	72	6400	非対応
UCS-CPU-I6724P	パフォーマンス	4S	16	3.60	210	72	6400	非対応
UCS-CPU-I6517P	パフォーマンス	2S	16	3.20	190	72	6400	非対応
UCS-CPU-I6515P	メインライン	2S	16	2.40	150	72	6400	非対応
UCS-CPU-I6505P	メインライン	2S	12	2.20	150	48	6400	非対応
UCS-CPU-I6714P	パフォーマンス	4S	8	4.00	165	48	6400	非対応
UCS-CPU-I6507P	パフォーマンス	2S	8	3.50	150	48	6400	非対応

CPU 構成に含まれるアクセサリ / スペア :

- UCSC-HSLP-C220M8

注 : 後から 2 つ目の CPU を追加する場合は、アクセサリを注文する必要があります。

注 :

1. シングル ソケット専用 CPU
2. FCS 後に利用可能

表 6 CPU PID デコーダ

識別子 #1	識別子 #2	識別子 #3	識別子 #4	識別子 #5	識別子 #6	識別子 #7
シスコ製品 ファミリ	CPU サプライヤ	CPU の世代	SKU 階層	CPU SKU (2 桁)	コア アーキテクチャ	オプション / スペア CPU
UCS	I: Intel	6 : 第 6 世代	5 : GNR-SP 中間階層 7 : GNR-SP 高階層	例 : 20、34、48 サブ ライヤからの詳細な SKU スタックを参照 11、21、31、41、61、 81 : シングルソケット	P : P-Core	空白 : オプション =: スペア

サポートされている構成

- 1-CPU システムの場合、サーバは最大で以下をサポートできます。
 - ハーフハイト ライザー 1 と 2×2 または
 - フルハイト ライザー 1×1
- 2-CPU システムの場合、サーバは最大で以下をサポートできます。
 - 3個のハーフハイト ライザー 1、2、および 3 または
 - フルハイト ライザー 1 と 2×2、
 - 4つ以上の直接接続の NVMe ドライブが選択されている場合は、2つの CPU が必要です

選択する 1 つまたは 2 つの CPU は、必要なサーバーの機能に応じて異なります。次の項を参照してください。

- [ステップ4 メモリを選択する \(必須\) ページ16](#)
- [ステップ5 ドライブコントローラを選択する \(オプション\) ページ19](#)
- [ステップ6 ドライブを選択する \(オプション\) ページ21](#)
- [ステップ7 オプションカードを選択します \(オプション\) ページ24](#)

ステップ 4 メモリを選択する (必須)

次に表 7 サーバでサポートされるメイン メモリ DIMM 機能について説明します。

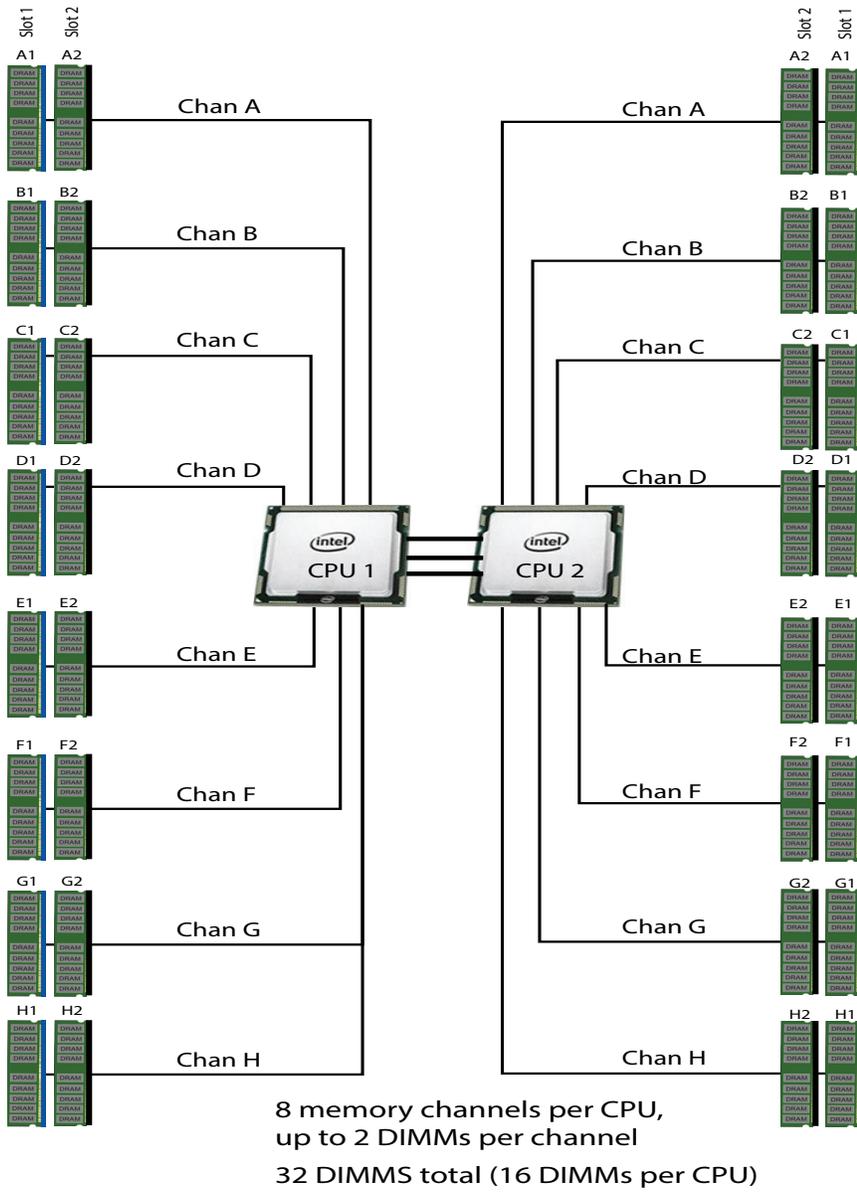
表 7 サーバ メイン メモリ機能

メモリ サーバ テクノロジー	説明	
	DIMM	MRDIMM ¹
Intel® Xeon® CPU 世代	Intel® Xeon® 6 CPUs	
DDR5 メモリのクロック速度	最大 6400 MT/s 1DPC、 最大 5200 MT/s 2DPC	最大 8000 MT/s 1DPC
動作時の電圧	1.1 ボルト	
DRAM ファブ密度	16Gb、24Gb および 32Gb	16 Gb
メモリタイプ	RDIMM (登録済み DDR5 DIMM)	MRDIMM (多重化ランク DDR5 DIMM)
メモリ DRAM DIMM/MRDIMM 組織	CPU ごとにメモリ DOMM チャンネル × 8。 チャンネルごとに最大 2 DIMM	CPU あたり 8 つの MRDIMM チャンネル。 チャンネルあたり 1 DIMM
サーバごとの DRAM DIMM/MRDIMM の最大数	32 (2 ソケット)	16 (2 ソケット)
DRAM DIMM/MRDIMM 密度およびランク	16GB 1Rx8、32GB 1Rx4、48GB 1Rx4、64GB 2Rx4、96GB 2Rx4、 128GB 2Rx4、256GB 4Rx4	32GB 2Rx8、64GB 2Rx4
最大システム容量	8TB (32x256GB)	1 TB (16x64GB)

注:

1. Intel® Xeon® SKU 6747P は MRDIMM をサポート (Intel Xeon 6 のドキュメントごと)

図 5 Cisco UCS 220 M8 のメモリ構成



DIMM とメモリ ミラーリングの選択

メモリの構成とメモリ ミラーリング オプションが必要かどうかを選択します。利用可能なメモリ DIMM とミラーリング オプションは、[表 8](#) に記載されています。



注：メモリのミラーリングをイネーブルにすると、メモリ サブシステムによって同一データが 2 つのチャンネルに同時に書き込まれます。片方のチャンネルに対してメモリの読み取りを実行した際に訂正不可能なメモリ エラーによって誤ったデータが返されると、システムはもう片方のチャンネルからデータを自動的に取得します。片方のチャンネルで一時的なエラーまたはソフト エラーが発生しても、ミラーリングされたデータが影響を受けることはありません。DIMM とそのミラーリング相手の DIMM に対してまったく同じ場所で同時にエラーが発生しない限り、動作は継続します。メモリのミラーリングを使用すると、2 つの装着済みチャンネルの一方からしかデータが提供されないため、オペレーティング システムで使用可能なメモリ量が 50 % 減少します。

表 8 Intel® Xeon® 第 6 世代 CPU を搭載した UCS M8 サーバのメモリ オプション。CPU

製品 ID (PID)	PID の説明	ランク /DIMM
DDR5-6400 MT/s Cisco メモリ PID リスト		
UCS-MRX16G1RE5	16GB RDIMM 1Rx8 1.1V (16Gb)	1
UCS-MRX32G1RE5	32GB RDIMM 1Rx4 1.1V (16Gb)	1
UCS-MRX48G1RF5 ¹	48GB RDIMM 1Rx4 1.1V (24Gb)	1
UCS-MRX64G2RE5	64GB RDIMM 2Rx4 1.1V (16Gb)	2
UCS-MRX96G2RF5	96GB RDIMM 2Rx4 1.1V (24Gb)	2
UCS-MR128G2RG5	128GB RDIMM 2Rx4 1.1V (32Gb)	2
UCS-MR256G4RG5	256GB RDIMM 4Rx4 1.1V (32Gb)	4
DDR5 MRDIMM-8800 MT/ 秒 Cisco メモリ PID リスト		
UCS-MCX32G2RE11 ¹	32GB DDR5 MRDIMM 8800 2Rx8 (16Gb)	2
UCS-MCX64G2RE11 ¹	64GB DDR5 MRDIMM 8800 2Rx4 (16Gb)	2
メモリ ミラーリング オプション		
N01-MMIRRORD	メモリ ミラーリング オプション	
メモリ構成に含まれるアクセサリ / スペア：		
<ul style="list-style-type: none"> ■ UCS-DDR5-BLK² は、選択されていない DIMM スロットに自動的に含まれます 		

注：

1. FCS 後に利用可能
2. 適切な冷却エアフローを維持するために、空の DIMM スロットに DIMM ブランクを取り付ける必要があります。

メモリ構成と混合ルール

- **ゴールデン ルール：**すべての CPU ソケットのメモリは、同じように構成する必要があります。
- サポートされるメモリ構成、カウント ルール、入力ルール、混合ルールの詳細については、『[Intel M8 メモリ ガイド](#)』を参照してください。

ステップ 5 ドライブコントローラを選択する (オプション)

次のリストは、サーバでのドライブの制御方法をまとめたものです。

- 最大 10 台の SAS/SATA/U.3 NVMe ドライブは、Cisco 24G トライモード M1 RAID コントローラで制御されます。
- 最大 10 台の SAS/SATA/U.3 NVMe ドライブは、Cisco 24G トライモード M1 RAID HBA で制御されます。



注：

- UCSC-RAID-M1L16：コントローラあたり 64 台の仮想ドライブ (VD)、ディスクグループあたり最大 64 台の仮想ドライブ (VD) OOB は、ディスクグループごとに 8 つの仮想ドライブ (VD) に制限されます。
- RAID コントローラを選択した場合、工場出荷時に専用スロットに取り付けられます。
- NVMe ハードウェア RAID の場合、U.3 NVMe SSD のみがサポートされます。

表 9 ハードウェア コントローラ オプション

製品 ID (PID)	PID の説明
内蔵ドライブ用コントローラ	
UCSC-RAID-M1L16 ^{1,2}	24G トライモード M1 RAID コントローラ (4GB FBWC 16 ドライブ対応、1U ブラケット 付属) <ul style="list-style-type: none"> ■ この RAID コントローラは、3Gbps、6Gbps、12Gbps、および 24Gbps で動作する最大 10 台の 2.5 インチ (SFF) SAS/SATA HDD、SAS/SATA SSD、および U.3 NVMe をサポートします。SuperCap と 4GB のフラッシュバック ライト キャッシュ (FBWC) が含まれています。 ■ RAID0、1、5、6、10、50、60、および JBOD モードをサポートし、RAID および JBOD モードの混合をサポートします。 ■ RAID コントローラを専用スロットに直接接続します。 ■ すべての自己暗号化ドライブ (SED) は、スタンドアロン管理 (CIMC/UCSM) のローカルキー設定および管理機能をサポートします。現在、SED ドライブはローカルキー管理機能のみで管理されます。サードパーティのキー管理は今後サポートされる予定です (KMIP 準拠)。
UCSC-HBA-M1L16	24G トライモード M1 HBA (16 ドライブ用) <ul style="list-style-type: none"> ■ このトライモード HBA は、3Gbps、6Gbps、12Gbps、および 24Gbps で動作する最大 10 台の SAS HDD および SAS/SATA/U.3 NVMe をサポートします。 ■ RAID はサポートされません ■ JBOD またはパススルー モードをサポート ■ 24G トライモード HBA は専用のスロットに直接接続できます。
ドライブ コントローラに含まれるアクセサリ / スペア： <ul style="list-style-type: none"> ■ UCSC-RAID-M1L16 または UCSC-HBA-M1L16 ドライブ コントローラを選択すると、CBL-RAID-220M8、および UCSC-HPBKT-22XM7 も含められます。 注： スペアとしてドライブ コントローラを後で追加する場合、ケーブル /supercap/ スーパー ケーブルと、コントローラ ブラケットを一緒に注文する必要があります。	

注:

1. U.3 NVMe ドライブをこのトライモード RAID コントローラ (UCSC-RAID-HP) とともに 選択した場合、工場出荷時のデフォルトとして RAID 接続に設定されます。ただし、スロット 1 ~ 4、6 ~ 9 の U.3 ドライブは、CPU に直接接続された U.2 モードで動作できます。このモードは、必要に応じて Cisco IMC から変更できます。
2. このトライモード RAID コントローラを注文する場合、単一の RAID ボリュームでの SAS/SATA ドライブと NVMe ドライブの混在はサポートされていないことに注意してください。仮想ドライブは、同じタイプのドライブでのみ作成できます



注意: すべての RAID オプションには、同じセクター サイズとメディア タイプのドライブが必要です。RAID ボリューム サイズの計算には、最小のドライブ容量が使用されます。

ステップ 6 ドライブを選択する (オプション)

ディスクドライブの標準仕様は次のとおりです。

- 2.5 インチ スモール フォーム ファクタ
- ホットプラグ可能
- ドライブはスレッド マウントされた状態で提供

ドライブを選択する

使用可能な SAS および SATA SSD/HDD および NVMe ドライブは、に記載されています。表 10



注意：シスコではさまざまなベンダーのソリッドステートドライブ (SSD) を使用しています。すべてのソリッドステートドライブ (SSD) は、物理的な書き込み制限の影響を受け、設定されている最大使用制限仕様は製造元によって異なります。シスコでは、シスコまたは製造元によって設定された最大使用仕様を超えたソリッドステートドライブ (SSD) をシスコ単独の判断では交換しません。

表 10 利用可能な SAS/SATA SSD および HDD

製品 ID (PID)	PID の説明	ドライブ タイプ	キャパシ ティ
HDD			
HDD (10K RPM)			
UCS-HDB1T2GS10K2N	1.2TB 2.5 インチ 12G SAS 10K RPM 512n HDD	SAS	1.2 TB
UCS-HDB2T4GS10K4K	2.4TB 2.5 インチ 12G SAS 10K RPM 4K HDD	SAS	2.4 TB
UCS-HDB300GS10K2N	300GB 2.5 インチ 12G SAS 10K RPM 512n HDD	SAS	300 GB
UCS-HDB600GS10K2N	600GB 2.5 インチ 12G SAS 10K RPM 512n HDD	SAS	600 GB
Enterprise Performance SAS/SATA SSD (高耐久性、最大 10X または 3X DWPD (Drive Writes Per Day) 対応)			
SATA			
UCS-SD19TBM3XEP-D	1.9TB 2.5 インチ Enter Perf 6G SATA Micron G2 SSD (3X)	SATA	1.9 TB
UCS-SD960GBM3XEPD	960GB 2.5 インチ Enter Perf 6G SATA Micron G2 SSD (3X)	SATA	960 GB
UCS-SD480GBM3XEPD	480GB 2.5 インチ Enter Perf 6G SATA Micron G2 SSD (3X)	SATA	480 GB
UCS-SDB1T90A1P	1.9TB 2.5 インチ 15 mm Solidigm S4620 Enter Perf 6G SATA 3X SSD	SATA	1.9 TB
UCS-SDB3T80A1P	3.8TB 2.5 インチ 15 mm Solidigm S4620 Enter Perf 6G SATA 3X SSD	SATA	3.8 TB
UCS-SDB960A1P	960GB 2.5 インチ 15 mm Solidigm S4620 Enter Perf 6G SATA 3X SSD	SATA	960 GB
UCS-SDB480A1P	480GB 2.5 インチ 15 mm Solidigm S4620 Enter Perf 6G SATA 3X SSD	SATA	480 GB
SAS			
UCS-SD32TKA3XEP-D	3.2TB 2.5 インチ Enter Perf 12G SAS Kioxia G2 SSD (3X)	SAS	3.2 TB
UCS-SD16TKA3XEP-D	1.6TB 2.5 インチ Enter Perf 12G SAS Kioxia G2 SSD (3X)	SAS	1.6 TB
Enterprise Value SAS/SATA SSD (低耐久性、最大 1X DWPD (1 日あたりのドライブ書き込み) 対応)			
SATA			
UCS-SD76TBM1XEV-D	7.6TB 2.5 インチ Enter Value 6G SATA Micron G2 SSD	SATA	7.6 TB

表 10 利用可能な SAS/SATA SSD および HDD (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明	ドライブ タイプ	キャパシ ティ
UCS-SD38TBM1XEVD	3.8TB 2.5 インチ Enter Value 6G SATA Micron G2 SSD	SATA	3.8 TB
UCS-SD19TBM1XEVD	1.9TB 2.5 インチ Enter Value 6G SATA Micron G2 SSD	SATA	1.9 TB
UCS-SD960GBM1XEVD	960GB 2.5 インチ Enter Value 6G SATA Micron G2 SSD	SATA	960 GB
UCS-SD480GBM1XEVD	480 GB 2.5 インチ Enter Value 6G SATA Micron G2 SSD	SATA	480 GB
UCS-SD240GBM1XEVD	240GB 2.5 インチ Enter Value 6G SATA Micron G2 SSD	SATA	240 GB
UCS-SDB7T6SA1VD	7.6TB 2.5 インチ 6G SATA Enter Value 1X Samsung G1PM893A SSD	SATA	7.6 TB
UCS-SDB3T8SA1VD	3.8TB 2.5 インチ 6G SATA Enter Value 1X Samsung G1PM893A SSD	SATA	3.8 TB
UCS-SDB1T9SA1VD	1.9TB 2.5 インチ 6G SATA Enter Value 1X Samsung G1PM893A SSD	SATA	1.9 TB
UCS-SDB960SA1VD	960GB 2.5 インチ 6G SATA Enter Value 1X Samsung G1PM893A SSD	SATA	960 GB
UCS-SDB3T8OA1V	3.8TB 2.5 インチ 15 mm Solidigm S4520 Enter Value 6G SATA 1X SSD	SATA	3.8 TB
UCS-SDB960OA1V	960GB 2.5 インチ 15 mm Solidigm S4520 Enter Value 6G SATA 1X SSD	SATA	960 GB
SAS			
UCS-SD15TKA1XEVD	15.3TB 2.5 インチ 値を入力 12G SAS Kioxia G2 SSD	SAS	15.3 TB
UCS-SD76TKA1XEVD	7.6TB 2.5 インチ Enter Value 12G SAS Kioxia G2 SSD	SAS	7.6 TB
UCS-SD38TKA1XEVD	3.8TB 2.5 インチ Enter Value 12G SAS Kioxia G2 SS	SAS	3.8 TB
UCS-SD19TKA1XEVD	1.9TB 2.5 インチ Enter Value 12G SAS Kioxia G2 SSD	SAS	1.9 TB
自己暗号化ドライブ (SED) (1X または 3X)			
SATA			
UCS-SD960GM2NK9-D	960GB 2.5 インチ Enter Value 6G SATA Micron G2 SSD (SED)	SATA	960 GB
SAS			
UCS-SD76TBKANK9-D	7.6TB 2.5 インチ Enter Value 12G SAS Kioxia G2 SSD (SED-FIPS)	SAS	7.6 TB
UCS-SD38TBKANK9-D	3.8TB 2.5 インチ Enter Value 12G SAS Kioxia G2 SSD (SED-FIPS)	SAS	3.8 TB
UCS-SD16TBKANK9-D	1.6TB 2.5 インチ Perf 12G SAS Kioxia G2 SSD (3X SED-FIPS)	SAS	1.6 TB
PCIe/NVMe SFF (2.5 インチ) SFF ドライブ			
UCS-NVMEG4-M1536D	15.3TB 2.5 インチ U.3 15mm P7450 Hg Perf Med End NVMe	U.3	15.3 TB
UCS-NVMEG4-M7680D	7.6TB 2.5 インチ U.3 15mm P7450 Hg Perf Med End NVMe	U.3	7.6 TB
UCS-NVMEG4-M6400D	6.4TB 2.5 インチ U.3 15mm P7450 Hg Perf Hg End NVMe (3X)	U.3	6.4 TB
UCS-NVMEG4-M3840D	3.8TB 2.5 インチ U.3 15mm P7450 Hg Perf Med End NVMe	U.3	3.8 TB
UCS-NVMEG4-M3200D	3.2TB 2.5 インチ U.3 15mm P7450 Hg Perf Hg End NVMe (3X)	U.3	3.2 TB
UCS-NVMEG4-M1920D	1.9TB 2.5 インチ U.3 15mm P7450 Hg Perf Med End NVMe	U.3	1.9 TB
UCS-NVMEG4-M1600D	1.6TB 2.5 インチ U.3 15mm P7450 Hg Perf Hg End NVMe (3X)	U.3	1.6 TB
UCS-NVMEG4-M960-D	960GB 2.5 インチ U.3 15mm P7450 Hg Perf Med End NVMe	U.3	960 GB
ドライブに含まれるアクセサリ / スペア :			
<ul style="list-style-type: none"> ■ UCSC-BBLKD-M7 は、選択されていない前面ストレージ デバイス用に含まれています。 ■ CBL-NVME-C220M8-P1 および CBL-NVME-220M8-P3 は、サーバでの NVMe ドライブの選択に自動的に含まれます 			
注 : 後でドライブをスペアとして追加する場合は、ケーブルと一緒に注文する必要があります。			

注意事項

- トライモード コントローラが選択されていない限り、U.3 NVMe ドライブは CPU に直接接続され、ドライブ コントローラによって管理されません。
- すべての HDD が独自の RAID ボリューム内にあり、すべての SSD も独自の RAID ボリューム内にある場合は、HDD と SSD を混在可能です。
- SED ドライブは、次の表の非 SED ドライブと混在可能です。[表 10 \(21 ページ\)](#)
- SFF NVMe ドライブは UEFI モードの場合のみブート可能です。

ステップ 7 オプション カードを選択します (オプション)

最新のサーバ互換性については、<https://ucshcltool.cloudapps.cisco.com/public/>にあるハードウェアとソフトウェアの互換性リスト (HCL) を確認してください。

標準搭載される PCIe カードは、次のとおりです。

- モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM)
- Open Compute Project (OCP) 3.0
- 仮想インターフェイスカード (VIC)
- ネットワーク インターフェイス カード (NIC)
- ホスト バス アダプタ (HBA)

オプション カードを選択する

使用可能なオプション カードを [表 11](#) に示します。

表 11 使用可能な PCIe オプション カード

製品 ID (PID)	PID の説明	参照先	カード サイズ ¹
モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM)²			
UCSC-M-V5Q50GV2-D	Cisco VIC 15427 4x 10/25/50G mLOM C シリーズ (セキュア ブート付き)	mLOM	HHHL、SS
UCSC-M-V5D200GV2D	Cisco VIC 15237 2x 40/100/200G mLOM C シリーズ (セキュア ブート付き)	mLOM	HHHL、SS
Open Compute Project (OCP)³			
UCSC-O-ID10GC-D	Intel X710T2LOCPV3G1L 2x10GbE RJ45 OCP3.0 NIC	OCP	SFF
UCSC-O-N6CD25GFO ⁴	NVIDIA OEM MCX631432AC-ADAB CX6Lx 2x25G SFP28 x8 OCP NIC	OCP	SFF
UCSC-O-N6CD100GFO ⁴	NVIDIA OEM MCX623436AC-CDAB CX6Dx 2x100G QSFP56 x16 OCP NIC	OCP	SFF
仮想インターフェイスカード (VIC)²			
UCSC-P-V5Q50G-D	Cisco VIC 15425 4x 10/25/50G PCIe C シリーズ (セキュア ブート付き)	ライザー 1 または 3	HHHL、SS
UCSC-P-V5D200G-D	Cisco VIC 15235 2x 40/100/200G PCIe C シリーズ (セキュア ブート付き)	ライザー 1 または 3	HHHL、SS
ネットワーク インターフェイス カード (NIC)			
1GbE NIC			
UCSC-P-IQ1GC	Cisco-Intel I710-T4L 4x1GBASE-T NIC	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
10GbE NIC			
UCSC-P-ID10GC-D	Cisco-Intel X710T2LG 2x10GBE RJ45 PCIe NIC	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
UCSC-P-IQ10GC-D	Cisco-Intel X710T4LG 4x10GBE RJ45 PCIe NIC	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
25GbE NIC			
UCSC-P-I8D25GF-D	Cisco-Intel E810XXVDA2 2x25/10GBE SFP28 PCIe NIC	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS

表 11 使用可能な PCIe オプション カード (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明	参照先	カード サイズ ¹
UCSC-P-N6D25GFO	NVIDIA OEM MCX631102AS-ADAT CX6Lx 2x25GbE SFP28 x8 PCIe NIC	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
UCSC-P-N7Q25GF	CX713104AS-ADAT : 4x25GbE SFP56 第 4 世代 x16, PCIe NIC	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
UCSC-P-I8Q25GF-D	Cisco-Intel E810XXVDA4L 4x25/10 GbE SFP28 PCIe NIC	ライザ 3	FHHL、SS
100GbE NIC			
UCSC-P-M6CD100GFO ⁴	NVIDIA OEM MCX623106AC-CDAT、2x100 GbE QSFP56 PCIe 暗号	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
UCSC-P-M6DD100GFO ⁴	NVIDIA OEM MCX623106AS-CDAT、2x100 GbE QSFP56 PCIe 暗号なし	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
UCSC-P-I8D100GF-D	Cisco-Intel E810CQDA2 2x100 GbE QSFP28 PCIe NIC	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
200GbE NIC			
UCSC-P-N7D200GFO ⁴	MCX755106AS-HEAT : CX-7 2x200GbE QSFP112 PCIe Gen5x16、VPI NIC	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
UCSC-P-N7D200GF	MCX755106AS-HEAT : CX-7 2x200GbE QSFP112 PCIe Gen5x16、VPI NIC	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
UCSC-P-N3220L	Nvidia OEM BlueField-3 B3220L SuperNIC 2x200G	ライザ 3	FHHL、SS
400GbE NIC			
UCSC-P-N7S400GF ⁴	MCX715105AS-WEAT CX-7 1x400GbE QSFP112 PCIe 第 5 世代 x16 VPI NIC	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
UCSC-P-N7S400GFO ⁴	NVIDIA OEM MCX715105AS-WEAT 1x400GbE QSFP112 PCIe 第 5 世代 NIC	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
ホスト バス アダプタ (HBA)			
UCSC-P-Q6D32GF-D	Cisco-QLogic QLE2772 2x32GFC Gen 6 Enhanced PCIe HBA	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
UCSC-P-B7D32GF-D	Cisco-Emulex LPe35002-M2-2x32GFC Gen 7 PCIe HBA	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
UCSC-PCIEBD16GF-D	Emulex LPe31002 デュアル ポート 16G FC HBA	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
UCSC-P-Q7D64GF	Cisco-QLogic QLE2872、64GFC Gen 7 PCIe HBA X 2	ライザー 1、2、 または 3	HHHL、SS
PCI カードに付属するアクセサリ / スペア。			
<ul style="list-style-type: none"> ■ UCSC-OC3-KIT-D は、Open Compute Project (OCP) カードを選択した場合に含まれます 			

注:

1. HHHL = ハーフハイト、ハーフレングス。FHHL = フルハイト、ハーフレングス。SS = シングルスロット。DS = ダブルスロット。SFF = スモール フォーム ファクタ。
2. 4 ポートの 50G 速度、および 2 ポートの 200G 速度は、サポートされているケーブルを使用するスタンドアロンサーバでのみサポートされます。サポートされているスイッチとケーブルについては、「[VIC 15000 シリーズのデータシート](#)」を参照してください。
3. mLOM スロットに取り付けるとき、mLOM VIC または OCP NIC のどちらか (両方はできません) を注文できます。OCP NIC を注文する場合は、OCP NIC を mLOM スロットに取り付けるために OCP メカニカル キット (UCSC-OC3-KIT) も取り付ける必要があります。
4. FCS 後に利用可能。
5. この仮想インターフェイス カードには、VIC セキュア ブート テクノロジーが組み込まれています。

動作確認済みの構成

(1) 1 CPU システム

- **表 11** に示されている PCIe オプション カードのうち最大 2 つを選択し、ライザー 1 とライザー 2 に取り付けることができます。ライザー 1 およびライザー 2 は CPU 1 により制御されています。ライザー 3 は、1 CPU システムにはインストールされません。

(2) 2 CPU システム

- 2 ライザー システムの場合は **表 11** に記載されている PCIe カードのうち最大 2 つを選択でき、3 ライザー システムの PCIe オプション カードのうち最大 3 つを選択できます。ライザー 1 と 2 は CPU によって制御され、ライザー 3 は CPU 2 によって制御されます。

不具合

■ 1 CPU システムの場合：

- ハーフ ハイト ライザー 1 およびライザー 2 がサポートされますフルハイト ライザー 1 がサポートされています
- 単一のプラグイン PCIe VIC カードのみがサポートされており、ライザー 1 にインストールする必要があります。ただし、1 枚の PCIe VIC カードに加えて、シャーシ背面の mLOM スロットに mLOM/OCP 3.0 カードを取り付けることもできます。

■ 2 CPU システムの場合：

- すべてのライザー（ライザー 1、2、および 3）がサポートされます。
- 2 枚のプラグイン PCIe VIC カードを 2 CPU システムに装着できます。VIC は、ハーフハイトライザーの組み合わせの場合にのみ、ライザー 1 または 3 に配置できます。フルハイト ライザーの場合、VIC にはライザー 1 または 3 を使用できます。さらに、mLOM/OCP 3.0 カードをシャーシ背面の mLOM/OCP 3.0 スロットに装着するように選択することも可能です。これにより、3 枚の VIC カードを同時に使用できます。プラグイン カードと mLOM VIC カードの選択については、**表 11 (24 ページ)** を参照してください。

- お使いのオペレーティング システムが選択したカードと互換性があることを確認するために、またはサーバで動作すると認定されたが Cisco の価格表で販売されていないその他のカードを確認するためには、次の URL のハードウェア互換性リストを確認してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10477/prod_technical_reference_list.html

- mLOM スロットに取り付けるとき、mLOM VIC または OCP NIC のどちらか（両方はできません）を発注できます。OCP NIC を注文する場合は、OCP NIC を mLOM スロットに取り付けるために OCP メカニカル キット (UCSC-OCP3-KIT) も取り付ける必要があります。

オプションの PCIe オプション カード アクセサリを選択する

- 最初の起動時にサードパーティのイーサネット アダプタでは、最初に選択した光モジュールおよびケーブルとの相互運用性がテストされました。相互運用可能な光およびケーブルの初期リストについては、次の製品概要を確認してください。
<https://www.cisco.com/c/en/us/products/servers-unified-computing/third-party-adapters-listing.html>
- 15428 および VIC 15238 のサポートされる光およびケーブルのリストについては、次の VIC 15000 シリーズ データ シートを参照してください。
<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/unified-computing-system-adapters/ucs-vic-15000-series-ds.html>
- Cisco Transceiver Module Group (TMG) は、Cisco の光およびケーブルを使用してテストを実施し、その結果を TMG 互換性マトリックスで公開しています。光モジュールおよび DAC との最新の互換性については、<https://tmgmatrix.cisco.com/> を参照してください。
- その他の接続オプションについては、次のリンクを参照してください。

Intel :
製品ガイド
速度に関するホワイトペーパー

ステップ 8 GPU カードを選択する (オプション)

GPU オプションの選択

使用可能な GPU PCIe オプションを [表 12](#) に示します。

表 12 選択可能な PCIe GPU カード¹

製品 ID (PID)	PID の説明	カードサイズ	ノードあたりの最大カード数	ライザーの互換性
UCSC-GPU-L4	NVIDIA L4:70W、24GB、1 スロット HHHL GPU	HHHL、シングル幅	3	すべてのライザー

注:

1. 詳細については、『[設置ガイド](#)』を参照してください。



注:

- CIMC および UCSM 管理では固有の SBIOS ID が必要になるため、GPU カードはすべてシスコから購入してください。
- GPU を組み合わせることはできません。

ステップ 9 M.2 ブート RAID コントローラと SATA SSD を注文する (オプション)

- [表 13](#) から Cisco ブート最適化 M.2 RAID コントローラを注文します。ブート最適化 RAID コントローラは、マザーボード上のコネクタに接続し、最大 2 つの M.2 SATA ドライブを保持します。



注:

- Cisco ブート最適化 M.2 RAID コントローラは、Windows および Linux オペレーティングシステムをサポートします
- Cisco ブート最適化 M.2 RAID コントローラは RAID 1 および JBOD モードをサポートします
- Cisco ブート最適化 M.2 RAID コントローラは、240GB、480GB、および 960GB M.2 SSD でのみ使用できます。
- CIMC は、ボリュームの設定とコントローラおよび取り付け済みの SATA M.2 のモニタリングに対応しています。
- SATA M.2 ドライブは UEFI モードでのみ起動できます。レガシブートモードはサポートされていません。
- システムごとに最大 1 つのブート最適化 RAID コントローラがサポートされます。

表 13 ブート最適化 RAID コントローラ

製品 ID (PID)	PID の説明	コントローラのタイプ	ホットスワップ可能
UCS-M2-HWRAID2 ¹	Cisco ブート最適化 M.2 RAID コントローラ (SATA ドライブ用)	内部 (Internal)	非対応
UCSC-M2RM-M8 ²	UCS C220/240 M8 背面ホットプラグ M.2 モジュール (MLOM)	MLOM スロット	はい

注:

1. UCS-M2-HWRAID2 は、マザーボード上のコネクタに接続し、最大 2 つの M.2 SATA ドライブを保持します。M.2 ドライブのホットプラグ交換は、UCS-M2-HWRAID2 ではサポートされていません。サーバの電源をオフにする必要があります。UCSC-M2I-220M8 は UCS-M2-HWRAID2 に自動的に含まれます。スペアとして M.2 RAID コントローラを追加する場合、アクセサリを一緒に注文する必要がある場合があります。
 2. UCSC-M2RM-M8 は mLOM の場所に取り付けられます。UCSC-M2RM-M8 を選択した場合、mLOM/OCP カードは使用できません。M.2 ドライブのホットプラグ交換は、UCSC-M2RM-M8 でサポートされています。CBL-M2RM-220M8 は UCSC-M2RM-M8 に自動的に含まれます。スペアとして M.2 RAID コントローラを追加する場合、アクセサリを一緒に注文する必要がある場合があります。
- ブート用に最適化された RAID コントローラ ([表 13](#) を参照) とともに、[表 14](#) から 1 個または 2 個の同一の M.2 SATA SSD を注文します。各ブート用に最適化された RAID コントローラは、最大 2 個の SATA M.2 SSD に対応できます。



注:

- M.2 SATA SSD をブート専用デバイスとして使用することをお勧めします。
- ブートに最適化された RAID コントローラには、1 台または 2 台の同一の M.2 SATA SSD を注文します。
- 容量の異なる M.2 SATA SSD を混在させることはできません。

表 14 M.2 SATA SSD

製品 ID (PID)	PID の説明
UCS-M2-240G-D	240GB M.2 SATA Micron G2 SSD
UCS-M2-480G-D	480GB M.2 SATA SSD
UCS-M2-960G-D	960GB M.2 SATA Micron G2 SSD
UCS-M22400A1V	240GB M.2 Boot Solidigm S4520 SATA 1X SSD
UCS-M24800A1V	480GB M.2 Boot Solidigm S4520 SATA 1X SSD

ステップ 10 電源装置を発注する (必須)

電源ユニットは、M8 C シリーズ サーバへのホットプラグおよび工具不要の装着が可能な、共通の電気および物理設計を使用しています。各電源ユニットは、高効率の動作が保証されており、複数の出力オプションを提供します。このため、ユーザーはサーバー構成に基づいて「適切なサイズ」を選択でき、電力効率を向上させ、全体的なエネルギーコストを削減し、データセンター内の容量の使い残しを回避できます。

選択したオプション (CPU、ドライブ、メモリなど) に応じて必要な電力を計算するには、次のリンクにある電力計算ツールを使用してください。

<http://ucspowercalc.cisco.com> [英語]



警告：

- 2024 年 1 月 1 日以降、欧州連合 (EU)、欧州経済領域 (EEA)、英国 (UK)、スイス、および Lot 9 規制を採用しているその他の国への出荷が許可されるのは、Titanium 定格の PSU のみです。
- DC PSU は Lot 9 規制の影響を受けず、EU/UK Lot 9 に準拠

表 15 電源モジュール

製品 ID (PID)	PID の説明
PSU (入力ハイ ライン 210VAC)	
UCSC-PSU1-1200W-D	C シリーズ サーバ用の 1200W チタニウム電源
UCSC-PSUV21050D-D	ラック サーバー用 Cisco UCS 1050W -48V DC 電源
UCSC-PSU1-1600W-D	UCS 1600W AC PSU Platinum (非 EU/UK Lot 9 準拠)
UCSC-PSU1-2300W-D	ラック サーバー チタン 用 Cisco UCS 2300W AC 電源
PSU (入力ロー ライン 110VAC)	
UCSC-PSU1-1200W-D	C シリーズ サーバー チタニウム 用の 1200W Titanium 電源
UCSC-PSU1-2300W-D	C シリーズ サーバー チタニウム 用の 2300W 電源



注：

- 1 台のサーバで 2 台の電源ユニットを使用する場合は、両方の電源ユニットが同一である必要があります。
- 各電源の詳細については、[電源仕様 \(53 ページ\)](#) セクションを参照してください。

ステップ 11 入力電源コードを選択する (必須)

表 16 および 表 17 を使用して、適切な AC 電源コードを選択します。電源コードは最大 2 本選択できます (省略可)。オプションの R2XX-DMYMPWRCORD を選択した場合、サーバーに電源コードは付属しません。



注: 表 16 に、2300 W 未満の電源を使用するサーバの電源コードを示します。表 17 は、2300 W の電源を使用するサーバの電源コードを示します。2300 W 電源装置の電源コードは C19 コネクタを使用するため、2300 W 電源装置のコネクタにのみ適合します。

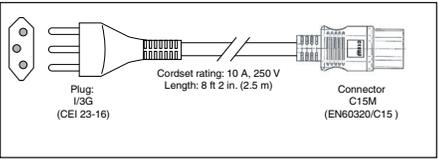
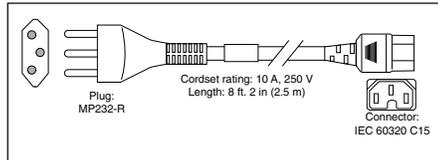
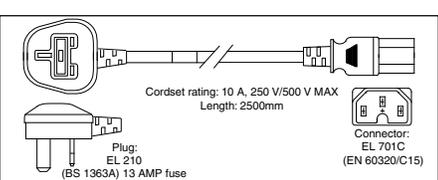
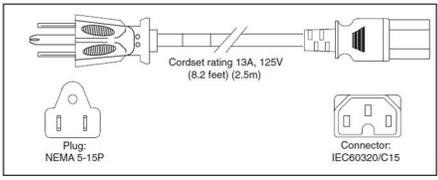
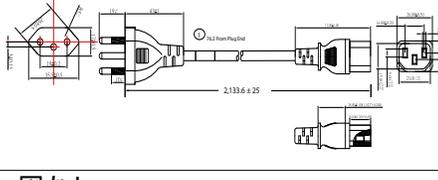
表 16 使用可能な電源コード (2300 W 未満のサーバ PSU 用)

製品 ID (PID)	PID の説明	イメージ
電源ケーブルなし	環境に優しいグリーン オプション、電源ケーブルは出荷されません	
CAB-48DC40A8AWG-D	C シリーズ -48VDC PSU 電源コード、3.5 m、3 ワイヤ、8AWG、40A	<p>Figure 1-3 CAB-48DC-40A-8AWG, DC Power Cord (3.5 m)</p> <p>Plug: NEMA 6-3P (48VDC, 40 A)</p> <p>Cordset rating: -48VDC, 40 A</p> <p>Cable Length: 3.5 m</p> <p>Wires: 3</p> <p>Wire Size: 8 AWG</p>
CAB-N5K6A-NA	電源コード、200/240 V 6 A (北米)	<p>Plug: NEMA 6-15P</p> <p>Cordset rating: 10 A, 250 V</p> <p>Length: 8.2 ft</p> <p>Connector: IEC60320/C13</p>
CAB-AC-L620-C13-D	AC 電源コード、NEMA L6-20 - C13、2 m/6.5 フィート	<p>① 3" From Plug End</p> <p>79±2</p>
CAB-C13-CBN	CABASY、ワイヤ、ジャンパコード、27 インチ L、C13/C14、10A/250V	<p>685 MM ± 25 MM</p> <p>75MM ± 10MM</p> <p>PLUG: TYP. 5510A</p> <p>CON. DETALS: TYP. 1451E</p> <p>PLUG: TYP. 5510A</p> <p>CON. DETALS: TYP. 1451E</p> <p>PLUG: TYP. 5510A</p> <p>CON. DETALS: TYP. 1451E</p>
CAB-C13-C14-2M	CABASY、ワイヤ、ジャンパコード、PWR、2 m、C13/C14、10 A/250 V	<p>① 3" From Plug End</p> <p>2,000</p>

表 16 使用可能な電源コード (2300 W 未満のサーバ PSU 用)

製品 ID (PID)	PID の説明	イメージ
CAB-C13-C14-AC	コード、PWR、JMP、IEC60320/C14、IEC6 0320/C13、3.0 m	
CAB-250V-10A-AR	電源コード、250 V、10 A (アルゼンチン仕様)	
CAB-9K10A-AU	電源コード、250 VAC、10 A、3112 プラグ (オーストラリア)	
CAB-250V-10A-CN	AC 電源コード、250 V、10 A (中国)	
CAB-9K10A-EU	電源コード、250 VAC、10 A、CEE 7/7 プラグ (EU)	
CAB-250V-10A-ID	電源コード、250 V、10 A (インド仕様)	
CAB-C13-C14-3M-IN	電源コード ジャンパ、C13-C14 コネクタ、長さ 3 m、インド	図なし
CAB-C13-C14-IN	電源コード ジャンパ、C13-C14 コネクタ、長さ 1.4 m、インド	図なし
CAB-250V-10A-IS	電源コード、SFS、250 V、10 A (イスラエル仕様)	

表 16 使用可能な電源コード (2300 W 未満のサーバ PSU 用)

製品 ID (PID)	PID の説明	イメージ
CAB-9K10A-IT	電源コード、250 VAC、10 A、CEI 23-16/VII プラグ (イタリア)	
CAB-9K10A-SW	電源コード、250 VAC 10 A MP232 プラグ (スイス仕様)	
CAB-9K10A-UK	電源コード、250 VAC、10 A、BS1363 プラグ (13 A ヒューズ) (英国)	
CAB-9K12A-NA ¹	電源コード、125 VAC、13 A、NEMA 5-15 プラグ (北米)	
CAB-250V-10A-BR	電源コード、250 V、10 A (ブラジル)	
CAB-C13C142M-JP-D	電源コード C13-C14、2 m (6.5 フィート)、日本 PSE マーク	図なし
CAB-9K10A-KOR ¹	電源コード、125 VAC 13 A KSC8305 プラグ (韓国)	図なし
CAB-ACTW	AC 電源コード (台湾)、C13、EL 302、2.3 m	図なし
CAB-JPN-3PIN	日本仕様、90-125 VAC 12 A NEMA 5-15 プラグ、2.4 m	図なし
CAB-48DC40A-INT-D	C シリーズ -48VDC PSU 電源コード、3.5 m、3 ワイヤ、8AWG、40A (INT)	図なし
CAB-48DC-40A-AS-D	C シリーズ -48VDC PSU 電源コード、3.5 m、3 ワイヤ、8AWG、40A (AS/NZ)	図なし

注:

- この電源コードは定格が 125 V で、定格 1050 W 以下の PSU のみをサポートします。

表 17 使用可能な電源コード (2300 W PSU のサーバ用)

製品 ID (PID)	PID の説明	イメージ
CAB-C19-CBN	キャビネット ジャンパ電源コード、250 VAC 16 A、C20-C19 コネクタ	該当なし
CAB-S132-C19-ISRL	S132 ~ IEC-C19 14 フィート、アルゼンチン仕様	図なし
CAB-IR2073-C19-AR	IRSM 2073 to IEC-C19、14 フィート、アルゼンチン仕様	図なし
CAB-BS1363-C19-UK	BS-1363 to IEC-C19、14 フィート、英国仕様	図なし
CAB-SABS-C19-IND	SABS 164-1 to IEC-C19、インド仕様	図なし
CAB-C2316-C19-IT	CEI 23-16 to IEC-C19、14 フィート、イタリア仕様	図なし
CAB-US515P-C19-US	NEMA 5-15 ~ IEC-C19 13 フィート、米国仕様	図なし
CAB-US520-C19-US	NEMA 5-20 ~ IEC-C19 14 フィート、米国仕様	図なし
CAB-US620P-C19-US	NEMA 6-20 ~ IEC-C19 13 フィート、米国仕様	図なし
CAB-9K16A-BRZ	電源コード 250 VAC 16 A、ブラジル、電源プラグ EL224-C19	図なし
CAB-9K16A-KOR	電源コード 250 VAC 16 A、韓国、電源プラグ	図なし
CAB-AC-16A-AUS	電源コード、250VAC、16A、オーストラリア C19	図なし
CAB-AC-2500W-EU	電源コード、250 VAC 16A、ヨーロッパ仕様	図なし
CAB-C14C19-10A-EU	電源コード C14-C19 10A EU	図なし
CAB-AC-2500W-INT	電源コード、250 VAC 16A、国際仕様	図なし
CAB-AC-2500W-ISRL	電源コード、250 VAC 16A、イスラエル仕様	図なし
CAB AC C19 TW	電源コード、250 V、16 A、C19、台湾仕様	図なし
CAB-AC-C6K-TWLK	電源コード、250 VAC 16A、ツイスト ロック NEMA L6-20 プラグ、米国仕様	図なし
CAB-AC16A-CH	AC 電源コード、16A、中国仕様	図なし
CAB-ACS-16	AC 電源コード、16A、スイス仕様	図なし
CAB-C19-C20-3M-JP	電源コード C19-C20、3 m/10 フィート、日本 PSE マーク	図なし
CAB-C19-C20-IND	電源コード C19-C20、インド仕様	図なし
UCSB-CABL-C19-BRZ	NBR 14136 to C19、14 フィート、AC 電源コード、ブラジル仕様	図なし
電源ケーブルなし	環境に優しいグリーン オプション、電源ケーブルは出荷されません	図なし

ステップ 12 ツールレス レール キット (必須) とリバーシブル ケーブル マネジメント アーム (オプション) を発注する

- ツールレス レール キット :

表 18 から工具不要レール キット、またはレール キットを選択します。



注 :

- Cisco では、レール キットの最小数量を 1 つにすることを推奨しています
- サーバをラックにマウントする場合は、工具不要レール キットを選択する必要があります。

表 18 工具不要レール キットのオプション

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSC-RAIL-D	M8 ラック サーバ用ボール ベアリング レール キット
UCSC-RAIL-NONE-D	レール キットオプションなし

- オプションのリバーシブル ケーブル マネジメント アーム :

リバーシブル ケーブル マネージメント アームは、サーバ背面の右または左のスライドレールのどちらかに取り付けて、ケーブルの整理に使用します。表 19 からオプションのリバーシブル ケーブル マネージメント アームを選択します。



注 : サーバをラックにマウントする場合は、工具不要レール キットを選択する必要があります。M6 サーバと M7 サーバでは、同じレール キットと CMA を使用します。

表 19 ケーブル マネジメント アーム

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSC-CMA-C220-D	M8 ボール ベアリング レール キット用のリバーシブル CMA

ツールレス レール キットおよびケーブル マネジメント アームに関する詳細は、『Cisco UCS C220 M8 インストール ガイド』をご確認ください。

ステップ 13 管理設定を選択する (オプション)

サーバの NIC モードは、工場設定のデフォルトとして Shared LOM 拡張に設定されます。この NIC モードでは、Cisco Integrated Management Controller (CIMC) へのアクセスに、任意の LOM ポートまたはアダプタカードポートを使用できます。Cisco VIC カードは、NCSI がサポートされているスロットに装着する必要があります。



注:

- C220 および C240 M8 サーバには LOM ポートがありません。VIC または OCP カードを使用せず注文したサーバは、構成可能な SW PID (**UCSC-CCARD-01**) で指定されない限り、専用ネットワーク モードで発送されます。
- すべての NIC モード設定に関する詳細は、以下を参照してください

https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/C220M8/install/b-c220-m8-installation-guide.html

表 20 管理設定の選択情報

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSC-DLOM-01-D	<p>C シリーズ サーバ用専用モード BIOS 設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ デフォルトの NIC モードを専用 NIC モードに変更するには、このカードを選択します ■ Dedicated NIC モードでは、専用の管理ポートを介してのみ CIMC にアクセスできます。 ■ 管理ポートの位置については、シャーシ背面図 (2 つのフルハイト、長さ 3/4 の PCIe ライザー) (6 ページ) を参照してください。
UCSC-CCARD-01-D	<p>C シリーズ サーバ用 Cisco カードモード BIOS 設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ デフォルトの NIC モードを Cisco カード モードに変更するには、このカードを選択します ■ Cisco カードを選択した場合は、VIC または MLOM も構成に含める必要があります。OCP カードが構成に含まれている場合は、VIC カードを選択する必要があります。 ■ このモードでは、DHCP を使用して CIMC に IP アドレスを割り当てます。それ以降の導入作業は自動化されます。

さらに、[表 24 \(48 ページ\)](#) に記載されているオプションのソフトウェア PID を注文すると、サーバの各種動作モードを設定できます。

ステップ 14 セキュリティ デバイスを発注する (必須)

トラステッド プラットフォーム モジュール (TPM) は、プラットフォーム (サーバ) の認証に使用される情報を安全に格納できるコンピュータ チップ (マイクロコントローラ) です。これらのアーティファクトには、パスワード、証明書、または暗号キーを収録できます。プラットフォームが信頼性を維持していることを確認するうえで効果的なプラットフォームの尺度の保存でも、TPM を使用できます。すべての環境で安全なコンピューティングを実現するうえで、認証 (プラットフォームがその表明どおりのものであることを証明すること) および立証 (プラットフォームが信頼でき、セキュリティを維持していることを証明するプロセス) は必須の手順です。

シャーシ侵入スイッチは、サーバに対して不正アクセスがあった場合に通知します。

セキュリティ デバイスの選択情報を示します。表 21



注:

- このシステムで使用される TPM モジュールは、信頼されたコンピューティンググループ (TCG) で定義されている TPM 2.0 に準拠しています。また SPI にも準拠しています。
- TPM の取り付けは、工場出荷後にサポートされます。ただし、TPM は一方向ネジで取り付けられるため、交換したり、アップグレードしたり、別のサーバに取り付けたりすることはできません。TPM を取り付けしたサーバを返却する場合は、交換用サーバを新しい TPM とともにオーダーする必要があります。

表 21 セキュリティ デバイス

製品 ID (PID)	PID の説明
UCS-TPM-002D-D	TPM 2.0 TCG FIPS140-2 CC+ Cert M7 Intel MSW2022 準拠
UCSX-TPM-OPT-OUT-D	OPT OUT、TPM 2.0、TCG、FIPS140-2、CC EAL4 + 認定 ¹
UCSC-INT-SW02-D	C220 および C240 M8 シャーシ侵入スイッチ

注:

1. ベアメタルまたはゲスト VM の展開には、Microsoft 認定の TPM 2.0 が必要であることに注意してください。TPM 2.0 のオプトアウトにより、Microsoft 認定資格が無効になります

ステップ 15 ロックキー付きセキュリティ ベゼルを選択する (オプション)

シャーシ前面にオプションのロックベゼルを取り付けることで、ドライブへの不正アクセスを防止できます。

表 22 からロック ベゼルを選択します。

表 22 ロック ベゼル オプション

製品 ID (PID)	説明
UCSC-BZL-C220-D	C220 M8 セキュリティ ベゼル

ステップ 16 オペレーティング システムとサードパーティ ソフトウェア を選択する



注：

- オペレーティングシステムのガイダンスについては、
<https://ucshcltool.cloudapps.cisco.com/public/> を参照してください。

表 23 オペレーティング システム

製品 ID (PID)	PID の説明
Microsoft Windows Server	
MSWS-22-ST16C	Windows Server 2022 Standard (16 コア /2 VM)
MSWS-22-ST16C-RM	Windows Server 2022 Standard (16 コア /2 VM)、リカバリメディア DVD のみ
MSWS-22-STA2C	Windows Server 2022 Standard : 2 コア追加
MSWS-22-ST16C-NS	Windows Server 2022 Standard (16 コア /2 VM)、Cisco SVC なし
MSWS-22-ST16C-RM	Windows Server 2022 Standard (16 コア /2 VM)、リカバリメディア DVD のみ
MSWS-22-STA2C-NS	Windows Server 2022 Standard : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-22-DC16C	Windows Server 2022 Data Center (16 コア /VM 無制限)
MSWS-22-DC16C-RM	Windows Server 2022 DC (16 コア /VM 無制限)、リカバリメディア DVD のみ
MSWS-22-DCA2C	Windows Server 2022 Data Center : 2 コア追加
MSWS-22-DC16C-NS	Windows Server 2022 DC (16 コア /VM 無制限)、Cisco SVC なし
MSWS-22-DC16C-RM	Windows Server 2022 DC (16 コア /VM 無制限)、リカバリメディア DVD のみ
MSWS-22-DCA2C-NS	Windows Server 2022 DC : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-ST16C	Windows Server 2025 Standard (16 コア /2 VM)
MSWS-25-ST16C-RM	Windows Server 2025 Standard (16 コア /2 VM)、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-25-STA2C	Windows Server 2025 Standard (追加 2 コア)
MSWS-25-STA4C	Windows Server 2025 Standard (追加 4 コア)
MSWS-25-STA16C	Windows Server 2025 Standard (追加 16 コア)
MSWS-25-ST16C-NS	Windows Server 2025 Standard (16 コア /2 VM) : Cisco SVC なし
MSWS-25-ST16C-RM	Windows Server 2025 Standard (16 コア /2 VM)、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-25-STA2C-NS	Windows Server 2025 Standard : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-STA4C NS	Windows Server 2025 Standard : 4 コア追加、Cisco SVC なし

表 23 オペレーティング システム (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
MSWS-25-STA16C-NS	Windows Server 2025 Standard : 16 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-ST24C	Windows Server 2025 Standard (24 コア)
MSWS-25-ST16C-RM	Windows Server 2025 Standard (16 コア /2 VM)、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-25-STA2C	Windows Server 2025 Standard (追加 2 コア)
MSWS-25-STA4C	Windows Server 2025 Standard (追加 4 コア)
MSWS-25-STA16C	Windows Server 2025 Standard (追加 16 コア)
MSWS-25-ST24C-NS	Windows Server 2025 Standard (24 コア) : Cisco SVC なし
MSWS-25-ST16C-RM	Windows Server 2025 Standard (16 コア /2 VM)、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-25-STA2C-NS	Windows Server 2025 Standard : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-STA4C NS	Windows Server 2025 Standard : 4 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-STA16C-NS	Windows Server 2025 Standard : 16 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-DC16C	Windows Server 2025 Data Center (16 コア /VM 無制限)
MSWS-25-DC16C-RM	Windows Server 2025 DC (16 コア /VM 無制限)、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-25-DCA2C	Windows Server 2025 Data Center : 2 コア追加
MSWS-25-DCA4C	Windows Server 2025 Data Center : 4 コア追加
MSWS-25-DCA16C	Windows Server 2025 Data Center : 16 コア追加
MSWS-25-DC16C-NS	Windows Server 2025 DC (16 コア /VM 無制限)、Cisco SVC なし
MSWS-25-DC16C-RM	Windows Server 2025 DC (16 コア /VM 無制限)、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-25-DCA2C-NS	Windows Server 2025 DC : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-DCA4C-NS	Windows Server 2025 DC : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-DCA16C-NS	Windows Server 2025 DC : 4 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-DC24C	Windows Server 2025 Data Center : 4 コア追加
MSWS-25-DC16C-RM	Windows Server 2025 DC (16 コア /VM 無制限)、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-25-DCA2C	Windows Server 2025 Data Center : 2 コア追加
MSWS-25-DCA4C	Windows Server 2025 Data Center : 4 コア追加
MSWS-25-DCA16C	Windows Server 2025 Data Center : 16 コア追加
MSWS-25-DC24C-NS	Windows Server 2025 DC (24 コア) : Cisco SVC なし
MSWS-25-DC16C-RM	Windows Server 2025 DC (16 コア /VM 無制限)、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-25-DCA2C-NS	Windows Server 2025 DC : 2 コア追加、Cisco SVC なし

表 23 オペレーティング システム (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
MSWS-25-DCA4C-NS	Windows Server 2025 DC : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-25-DCA16C-NS	Windows Server 2025 DC : 4 コア追加、Cisco SVC なし
Red Hat	
RHEL-2S2V-1A	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、1 年サポートが必要
RHEL-2S-RS-1A	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU)、1 年サポートが必要
RHEL-2S-HA-1A	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU)、1 年サポートが必要
RHEL-2S2V-3A	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、3 年サポートが必要
RHEL-2S-RS-3A	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU)、3 年サポートが必要
RHEL-2S-HA-3A	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU)、3 年サポートが必要
RHEL-2S2V-5A	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、5 年サポートが必要
RHEL-2S-RS-5A	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU)、5 年サポートが必要
RHEL-2S-HA-5A	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU)、5 年サポートが必要
RHEL-VDC-2SUV-1A	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限)、1 年サポートが必要
RHEL-2S-RS-1A	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU)、1 年サポートが必要
RHEL-2S-HA-1A	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU)、1 年サポートが必要
RHEL-VDC-2SUV-3A	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限)、3 年サポートが必要
RHEL-2S-RS-3A	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU)、3 年サポートが必要
RHEL-2S-HA-3A	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU)、3 年サポートが必要
RHEL-VDC-2SUV-5A	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限)、5 年サポートが必要
RHEL-2S-RS-5A	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU)、5 年サポートが必要
RHEL-2S-HA-5A	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU)、5 年サポートが必要
Red Hat Ent Linux/High Avail/Res Strg/Scal	
RHEL-2S2V-1S	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、Prem 1 年 SnS
RHEL-2S2V-1YR	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、Prem 24 X 7 - 1 年
RHEL-2S2V-3S	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、Prem 3 年 SnS
RHEL-2S2V-3YR	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、Prem 24 X 7 - 3 年
RHEL-2S-HA-1S	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU)、Prem 1 年 SnS
RHEL-2S-HA-1YR	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU)、プレミアム 24 x 7、1 年
RHEL-2S-HA-3S	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU)、Prem 3 年 SnS

表 23 オペレーティング システム (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
RHEL-2S-HA-3YR	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU)、プレミアム 24 x 7、3 年
RHEL-2S-RS-1S	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU)、Prem 1 年 SnS
RHEL-2S-RS-1YR	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU)、プレミアム 24 x 7、1 年
RHEL-2S-RS-3S	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU)、Prem 3 年 SnS
RHEL-2S-RS-3YR	RHEL Resilient Storage (1 ~ 2 CPU)、プレミアム 24 x 7、3 年
RHEL-VDC-2SUV-1S	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限)、1 年 SnS が必要
RHEL-VDC-2SUV1YR	仮想データセンター用 RHEL、Prem 24x7、1 年 SnS が必要
RHEL-VDC-2SUV-3S	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限)、3 年 SnS が必要
RHEL-VDC-2SUV3YR	仮想データセンター用 RHEL、Prem 24x7、3 年 SnS が必要
Red Hat SAP	
RHEL-SAP-2S2V-1S	SAP アプリケーション用 RHEL (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、Prem 1 年 SnS
RHEL-SAP-2S2V1YR	SAP アプリケーション用 RHEL (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、Prem 24 X 7 - 1 年
RHEL-SAP-2S2V-3S	SAP アプリケーション用 RHEL (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、Prem 3 年 SnS
RHEL-SAP-2S2V3YR	SAP アプリケーション用 RHEL (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、Prem 24 X 7 - 3 年
RHEL-SAPSP-3S	RHEL SAP Solutions Premium - 3 年間の SnS ライセンス
RHEL-SAPSS-3S	RHEL SAP Solutions Standard - 3 年間の SnS ライセンス
SuSE	
SLES-2S2V-1S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 1 年 SnS
SLES-2S2V-1YR	SUSE Linux Entp サーバー (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先順位 SnS 24 X 7 - 1 年
SLES-2S2V-3S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 3 年 SnS
SLES-2S2V-3YR	SUSE Linux Entp サーバー (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先順位 SnS 24 X 7 - 3 年
SLES-2S2V-5S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 5 年 SnS
SLES-2S2V-5YR	SUSE Linux Entp サーバ (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先順位 SnS 24 X 7 - 5 年
SLES-2S-HA-1S	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU)、1 年 SnS
SLES-2S-HA-1YR	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU)、継承 SnS - 1 年
SLES-2S-HA-3S	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU)、3 年 SnS
SLES-2S-HA-3YR	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU)、継承 SnS - 3 年
SLES-2S-HA-5S	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU)、5 年 SnS
SLES-2S-HA-5YR	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU)、継承 SnS - 1 年

表 23 オペレーティング システム (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
SLES-2S-GC-1S	SUSE Linux HA 対応 Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU)、1 年 SnS
SLES-2S-GC-1YR	SUSE Linux Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU)、継承 SnS - 1 年
SLES-2S-GC-3S	SUSE Linux HA 対応 Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU)、3 年 SnS
SLES-2S-GC-3YR	SUSE Linux Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU)、継承 SnS - 3 年
SLES-2S-GC-5S	SUSE Linux HA 対応 Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU)、5 年 SnS
SLES-2S-GC-5YR	SUSE Linux Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU)、継承 SnS - 5 年
SLES-2S-LP-1S	SUSE Linux Live パッチ アドオン (1 ~ 2 CPU)、1 年 SnS が必要
SLES-2S-LP-1YR	SUSE Linux Live パッチ アドオン (1 ~ 2 CPU)、継承 SnS 1 年
SLES-2S-LP-3S	SUSE Linux Live パッチ アドオン (1 ~ 2 CPU)、3 年 SnS が必要
SLES-2S-LP-3YR	SUSE Linux Live パッチ アドオン (1 ~ 2 CPU)、継承 SnS 3 年
SLES-2SUVM-1S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先 1 年 SnS
SLES-2SUVM-1YR	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先順位 SnS 24 X 7 - 1 年
SLES-2SUVM-3S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先 3 年 SnS
SLES-2SUVM-3YR	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先順位 SnS 24 X 7 - 3 年
SLES-2SUVM-5S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先 5 年 SnS
SLES-2SUVM-5YR	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先順位 SnS 24 X 7 - 5 年
SLES-2S2V-1A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、1 年サポートが必要
SLES-2S2V-3A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、3 年サポートが必要
SLES-2S2V-5A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、5 年サポートが必要
SLES-2S-LP-1A	SUSE Linux Live Patching アドオン (1 ~ 2 CPU)、1 年サポートが必要
SLES-2S-LP-3A	SUSE Linux Live Patching アドオン (1 ~ 2 CPU)、3 年サポートが必要
SLES-2SUVM-1A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、1 年サポートが必要
SLES-2SUVM-3A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、3 年サポートが必要
SLES-2SUVM-5A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、5 年サポートが必要
SLES および SAP	
SLES-SAP-2S2V-1S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 1 年 SnS
SLES-SAP-2S2V1YR	SAP アプリケーション用 SUSE (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先順位 SnS 24 X 7 - 1 年
SLES-SAP-2S2V-3S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 3 年 SnS
SLES-SAP-2S2V3YR	SAP アプリケーション用 SUSE (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先順位 SnS 24 X 7 - 3 年

表 23 オペレーティング システム (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
SLES-SAP-2S2V-5S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 5 年 SnS
SLES-SAP-2S2V5YR	SAP アプリケーション用 SUSE (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先順位 SnS 24 X 7 - 5 年
SLES-SAP2SUVM-1S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先 3 年 SnS
SLES-SAP2SUVM-1YR	SAP アプリケーション用 SUSE (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先順位 SnS 24 X 7 - 1 年
SLES-SAP2SUVM-3S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先 3 年 SnS
SLES-SAP2SUVM-3YR	SAP アプリケーション用 SUSE (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先順位 SnS 24 X 7 - 3 年
SLES-SAP2SUVM-5S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先 3 年 SnS
SLES-SAP2SUVM-5YR	SAP アプリケーション用 SUSE (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、優先順位 SnS 24 X 7 - 5 年
SLES-SAP-2S2V-1A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、1 年サポートが必要
SLES-SAP-2S2V-3A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、3 年サポートが必要
SLES-SAP-2S2V-5A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、5 年サポートが必要
SLES-SAP2SUVM-1A	SAP アプリ用 SLES HA 付き (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、1 年サポートが必要
SLES-SAP2SUVM-3A	SAP アプリ用 SLES HA 付き (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、3 年サポートが必要
SLES-SAP2SUVM-5A	SAP アプリ用 SLES HA 付き (1 ~ 2 CPU、VM 無制限) LP、5 年サポートが必要
サードパーティ ソフトウェア - RedHat	

表 24 サードパーティ ソフトウェア - RedHat

製品 ID (PID)	PID の説明
Red Hat OpenShift	
RH-OKE-B-P1S	OpenShift Kubernetes Eng (BM)、プレミアム 1 年 SnS が必要 (1-2 CPU-64core)
RH-OKE-B-P1Y	OpenShiftKubernetesEngine (BM)、プレミアム 1 年 SnS (1-2 CPUupto64cores)
RH-OKE-B-P3S	OpenShiftKubernetesEngine (BM)、プレミアム 3 年 SnS が必要 (1-2 CPU-64core)
RH-OKE-B-P3Y	OpenShiftKubernetesEngine (BM)、プレミアム 3 年 SnS (1-2CPUupto64cores)
RH-OCP-B-P1S	OpenShiftContainerPlatform (BM)、Prem 1YsnS Req (1-2CPU-64core)
RH-OCP-B-P1Y	OpenShiftContainerPlatform (BM)、Prem1YrSnS (1-2CPUupto64cores)
RH-OCP-B-P3S	OpenShiftContainerPlatform (BM)、プレミアム 3 年 SnS 要求 (1-2CPU-64core)
RH-OCP-B-P3Y	OpenShiftContainerPlatform (BM)、Prem3YsnS (1-2CPUupto64cores)
RH-OPP-B-P1S	OpenShift Platform Plus (BM)、プレミアム 1 年 SnS が必要 (1 ~ 2 CPU-64 コア)
RH-OPP-B-P1Y	OpenShift Platform Plus (BM)、プレミアム 3 年 SnS (1 ~ 2 CPU-64 コア)

表 24 サードパーティ ソフトウェア - RedHat

製品 ID (PID)	PID の説明
RH-OPP-B-P3S	OpenShift Platform Plus (BM)、プレミアム 3 年 SnS が必要 (1 ~ 2 CPU-64 コア)
RH-OPP-B-P3Y	OpenShift Platform Plus (BM)、プレミアム 3 年 SnS (1 ~ 2CPU 最大 64 コア)
RH-OPPDF-B-P1S	OPP および ODF Adv (BM)、プレミアム 1 年 SnS が必要 (1 ~ 2CPU 最大 64 コア)
RH-OPPDF-B-P1Y	OPP および ODF Adv (BM)、プレミアム 1 年 SnS (1 ~ 2CPU 最大 64 コア)
RH-OPPDF-B-P3S	OPP および ODF Adv (BM)、プレミアム 3 年 SnS が必要 (1 ~ 2CPU 最大 64 コア)
RH-OPPDF-B-P3Y	OPP および ODF Adv (BM)、プレミアム 3 年 SnS (1 ~ 2CPU 最大 64 コア)
RH-ACM B-P1S	AdvancedClusterMgmt for OKE (BM)、プレミアム 1 年 SnS が必要 (1-2CPU-64 コア)
RH-ACM-B-P1Y	AdvancedClusterMgmt for OKE (BM)、プレミアム 1 年 SnS (1 ~ 2 CPU 最大 64 コア)
RH-ACM B-P3S	AdvancedClusterMgmt for OKE (BM)、プレミアム 3 年 SnS が必要 (1-2CPU-64 コア)
RH-ACM-B-P3Y	AdvancedClusterMgmt for OKE (BM)、プレミアム 3 年 SnS (1 ~ 2 CPU 最大 64 コア)
RH-OAI-B-P1S	OpenShift AI (BM)、プレミアム 1 年 SnS が必要 (1 ~ 2 CPU、最大 64 コア)
RH-OAI-B-P1Y	OpenShift AI (BM)、Prem 1 年 SnS (1 ~ 2 CPU、最大 64 コア)
RH-OAI-B-P3S	OpenShift AI (BM)、プレミアム 3 年 SnS が必要 (1 ~ 2 CPU、最大 64 コア)
RH-OAI-B-P3Y	OpenShift AI (BM)、Prem 3 年 SnS (1 ~ 2 CPU、最大 64 コア)
RH-OCP-V-P1S	OpenShift コンテナ プラットフォーム、プレミアム 1 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4 vCPU)
RH-OCP-V-P1Y	OpenShift コンテナ プラットフォーム、プレミアム 1 年 SnS (2 cores or 4vCPUs)
RH-OCP-V-P3S	OpenShift コンテナ プラットフォーム、プレミアム 3 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4 vCPU)
RH-OCP-V-P3Y	OpenShift コンテナ プラットフォーム、プレミアム 3 年 SnS (2cores or 4vCPUs)
RH-OPP-V-P1S	OpenShift プラットフォーム Plus、Prem 1 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4 vCPU)
RH-OPP-V-P1Y	OpenShift プラットフォーム Plus、Prem 1 年 SnS (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OPP-V-P3S	OpenShift プラットフォーム Plus、プレミアム 3 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4 vCPU)
RH-OPP-V-P3Y	OpenShift Platform Plus、プレミアム 3 年 SnS (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OPPDF-V-P1S	OpenShiftPlatformPlus および ODFAdv、プレミアム 1 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OPPDF-V-P1Y	OpenShiftPlatformPlus および ODFAdv、プレミアム 1 年 SnS (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OPPDF-V-P3S	OpenShiftPlatformPlus および ODFAdv、プレミアム 3 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OPPDF-V-P3Y	OpenShiftPlatformPlus および ODFAdv、プレミアム 3 年 SnS (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OAI-V-P1S	OpenShift AI、プレミアム 1 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OAI-V-P1Y	OpenShift AI、プレミアム 1 年 SnS (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OAI-V-P3S	OpenShift AI、プレミアム 3 年 SnS が必要 (2 コアまたは 4vCPU)
RH-OAI-V-P3Y	OpenShift AI、プレミアム 3 年 SnS (2 コアまたは 4vCPU)

表 24 サードパーティ ソフトウェア - RedHat

製品 ID (PID)	PID の説明
Red Hat Ansible	
RH-AAP-1UCS-P1S	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 1 年 SnS が必要 (1 つの UCS サーバ)
RH-AAP-1UCS-P1Y	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 1 年 SnS (1 つの UCS サーバ)
RH-AAP-1UCS-P3S	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 3 年 SnS が必要 (1 つの UCS サーバ)
RH-AAP-1UCS-P3Y	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 3 年 SnS (1 つの UCS サーバ)
RH-AAP-100EP-P1S	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 1 年 SnS が必要 (100 エンドポイント)
RH-AAP-100EP-P1Y	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 1 年 SNS (100 エンドポイント)
RH-AAP-100EP-P3S	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 3 年 SnS が必要 (100 エンドポイント)
RH-AAP-100EP-P3Y	Ansible 自動化プラットフォーム、プレミアム 3 年 SnS (100 エンドポイント)

ステップ 17 CISCO INTERSIGHT

Cisco Intersight™ は、Software as a Service (SaaS) ハイブリッドクラウド運用プラットフォームであり、従来型およびクラウドネイティブのアプリケーションおよびインフラストラクチャ向けにインテリジェントな自動化、可観測性、最適化を実現します。

製品 ID (PID)	説明
DC-MGT-SAAS	Cisco Intersight SaaS

必要に応じて Cisco Intersight サブスクリプション オプションを選択します。表 25

表 25 Cisco Intersight

製品 ID (PID)	PID の説明
Cisco Intersight 2.0 Infrastructure Services	
DC-MGT-IS-SAAS-ES ¹	Infrastructure Services SaaS/CVA - Essentials
DC-MGT-IS-SAAS-AD ¹	Infrastructure Services SaaS/CVA - Advantage
DC-MGT-IS-PVAPP-ES ¹	Infrastructure Services PVA - Essentials
DC-MGT-IS-PVAPP-AD ¹	Infrastructure Services PVA - Advantage
アドオン	
DC-MGT-IS-UCSD	UCS Director - 1 サーバー ライセンス (ネットワーク、ストレージを含む)
Cisco Intersight Workload Optimizer (IWO) - SaaS	
VM インスタンス	
DC-MGT-WO-SAAS-ES ¹	Cisco Intersight Workload Optimizer SaaS - Essentials
DC-MGT-WO-SAAS-AD ¹	Cisco Intersight Workload Optimizer SaaS - Advantage
DC-MGT-WO-SAAS-PR ¹	Cisco Intersight Workload Optimizer SaaS - Premier
VDI インスタンス	
DC-MGT-WOD-SAAS-ES ¹	Cisco Intersight Workload Optimizer SaaS VDI - Essentials
DC-MGT-WOD-SAAS-AD ¹	Cisco Intersight Workload Optimizer SaaS VDI - Advantage
DC-MGT-WOD-SAAS-PR ¹	Cisco Intersight Workload Optimizer SaaS VDI - Premier

注:

1. スマート アカウント (SA) が必要です

必要に応じて Cisco Intersight サポート オプションを選択します。表 26

表 26 Cisco Intersight サポート

製品 ID (PID)	PID の説明
Cisco Intersight サポート	
SVS-SSTCS-DCMGMT ¹	DC 管理向けソリューション サポート
SVS-L1DCS-INTER ¹	INTERSIGHT 用 CXL1
SVS-L2DCS-INTER ¹	インターサイト用 CXL2
SVS-DCM-SUPT-BAS	DCM 向け基本サポート

注：

1. スマート アカウント (SA) が必要です



注：すべてのサーバーに Intersight ライセンスが必要です。

参考資料

PCIe ポートの割り当て

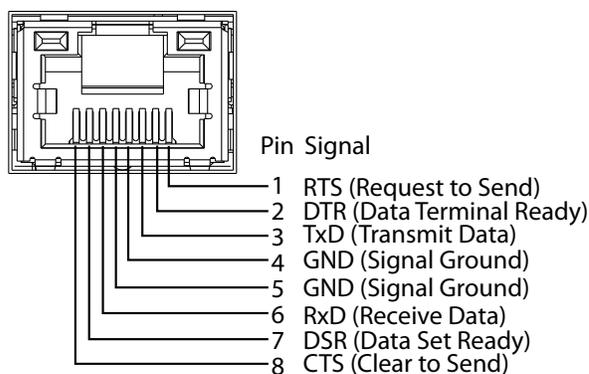
スロット	CPU1	CPU2
ライザー (1A/1B)	第 5 世代 x16	
ライザー (2A)	第 5 世代 x16	
ライザー 3 (3A / 3B)		第 5 世代 x16
mLOM / OCP	第 4 世代 x16	
RAID/HBA	第 4 世代 x16	
SFF NVMe スロット 1、2、3、4 ¹		各第 4 世代 x4
SFF NVMe スロット 6、7、8、9 ¹	各第 4 世代 x4	
M.2 ブート RAID	第 3 世代 x2	

注:

1. NVMe ドライブは、RAID コントローラの背後にない場合は、CPU に直接接続されます。

シリアル ポートの詳細

図 6 シリアルポート (RJ-45 のメス コネクタ) のピン割り当て
Serial Port (RJ-45 Female Connector)



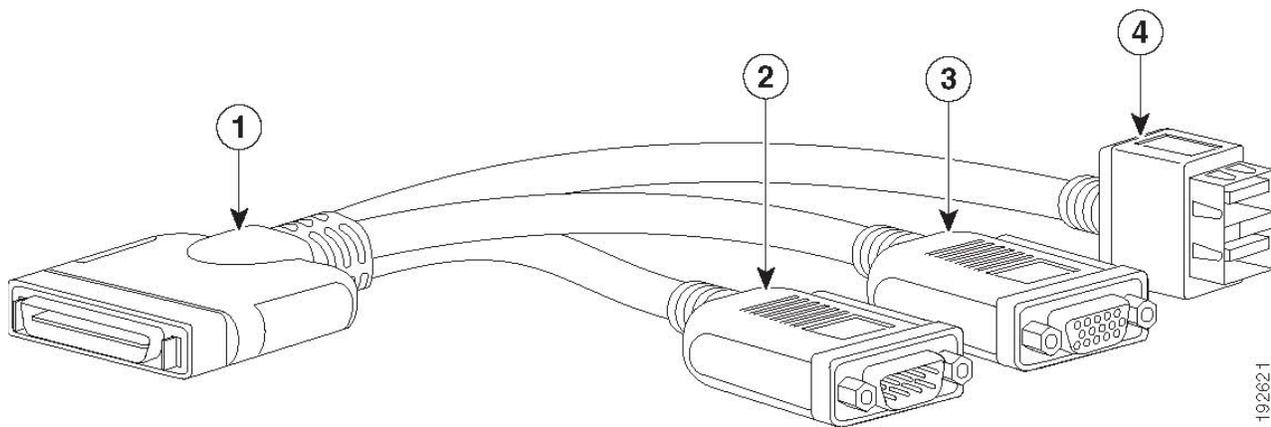
KVM ケーブル

KVM ケーブルはサーバーへの接続用のケーブルで、DB9 シリアルコネクタ、モニター用の VGA コネクタ、キーボードおよびマウス用のデュアル USB ポートが付いています。このケーブルを使用すると、サーバで実行されているオペレーティング システムと BIOS に直接接続できます。

表 27 KVM ケーブル

製品 ID (PID)	PID の説明
N20-BKVM	UCS サーバ コンソール ポート用の KVM ケーブル

図 7 KVM ケーブル



192621

1	コネクタ (サーバの前面パネルに接続)	3	モニター用の VGA コネクタ
2	DB-9 シリアル コネクタ	4	マウスおよびキーボード用の 2 ポート USB コネクタ

技術仕様

寸法と重量

表 28 サーバの寸法と重量

パラメータ	値
高さ	4.3 cm (1.70 インチ)
幅 (スラム ラッチを含む)	42.9 cm (16.9 インチ)
奥行き	76.2 cm (30 インチ)
重量	
0*2.5 インチ HDD、0*CPU (HS なし)、0*DIMM、1*2300W PSU、2FH ライザー 1 (PCIe なし)、2FH ライザー 2 (PCIe なし)、BBU + M.2 モジュール、mLOM、RAID トレイ	14.22 kg = 31.35 lb
0*2.5 インチ HDD、0*CPU (HS なし)、0*DIMM、1*2300W PSU、2FH ライザー 1 (PCIe なし)、2FH ライザー 2 (PCIe なし)、BBU + M.2 モジュール、mLOM、RAID トレイ、 レールキット	17.98 kg = 39.64 lb
1*2.5 インチ HDD、1*CPU (HS 付き)、1*DIMM、1*2300W PSU、2FH ライザー 1 (PCIe なし)、2FH ライザー 2 (PCIe なし)、BBU + M.2 モジュール、mLOM、RAID トレイ	15.09 kg = 33.27 lb
1*2.5 インチ HDD、1*CPU (HS 付き)、1*DIMM、1*2300W PSU、2FH ライザー 1 (PCIe なし)、2FH ライザー 2 (PCIe なし)、BBU + M.2 モジュール、mLOM、RAID トレイ、 レールキット	18.85 kg = 41.56 lb
10*2.5 インチ HDD、2*CPU (HS 付き)、32* DIMM、2*2300W PSU、2FH ライザー 1 (PCIe なし)、2FH ライザー 2 (PCIe なし)、BBU + M.2 モジュール、mLOM、RAID トレイ	19.84 kg = 43.74 lb
10*2.5 インチ HDD、2*CPU (HS 付き)、32* DIMM、2*2300W PSU、2FH ライザー 1 (PCIe なし)、2FH ライザー 2 (PCIe なし)、BBU + M.2 モジュール、mLOM、RAID トレイ、 レールキット	23.60 kg = 52.03 lb

電源仕様

サーバには、以下の電源ユニットを使用できます。

- 1050W DC 電源 (表 29 を参照)
- 1200 W (AC) 電源装置 (表 30 を参照)
- 1600 W (AC) 電源ユニット (表 31 を参照)
- 2300 W (AC) 電源ユニット (表 32 を参照)

表 29 1050 W (DC) 電源装置の仕様

パラメータ	仕様
入力コネクタ	Molex 42820
入力電圧範囲 (V rms)	-48
最大許容入力電圧範囲 (V rms)	-40 ~ -72
周波数範囲 (Hz)	該当なし
最大許容周波数範囲 (Hz)	該当なし
最大定格出力 (W)	1050
最大定格スタンバイ出力 (W)	36
公称入力電圧 (V rms)	-48
公称入力電流 (A rms)	24
公称入力電圧の最大入力 (W)	1154
公称入力電圧の最大入力 (VA)	1154
最小定格効率 (%) ¹	91
最小定格力率 ¹	該当なし
最大突入電流 (A ピーク)	15
最大突入電流 (ms)	0.2
最小ライドスルー時間 (ms) ²	5

注:

1. これは、80 Plus Platinum 認証を得るのに必要な最小定格です。認定値については <http://www.80plus.org/> [英語] で公開されているテストレポートを参照してください。
2. 入力電圧のドロップアウト時、時間出力電圧は 100% 負荷の状態規制の範囲内に留まります。

表 30 1200 W (AC) 電源ユニットの仕様

パラメータ	仕様			
入力コネクタ	IEC320 C14			
入力電圧範囲 (Vrms)	100 ~ 240			
最大許容入力電圧範囲 (Vrms)	90 ~ 264			
周波数範囲 (Hz)	50 ~ 60			
最大許容周波数範囲 (Hz)	47 ~ 63			
最大定格出力 (W) ¹	1100	1200		
最大定格スタンバイ出力 (W)	48			
公称入力電圧 (Vrms)	100	120	208	230
公称入力電流 (Arms)	12.97	10.62	6.47	5.84
公称入力電圧の最大入力 (W)	1300	1264	1343	1340
公称入力電圧の最大入力 (VA)	1300	1266	1345	1342
最小定格効率 (%) ²	90	90	91	91
最小定格力率 ²	0.97	0.97	0.97	0.97
最大突入電流 (A ピーク)	20			
最大突入電流 (ms)	0.2			
最小ライドスルー時間 (ms) ³	12			

注:

- ローライン入力電圧 (100 ~ 127 V) で動作時の最大定格出力は 1100 W に制限されます
- これは、80 Plus Titanium 認証を得るのに必要な最小定格です。認定値については <http://www.80plus.org/> [英語] で公開されているテストレポートを参照してください。
- 入力電圧のドロップアウト時、時間出力電圧は 100% 負荷の状態規制の範囲内に留まります

表 31 1600 W (AC) 電源ユニットの仕様

パラメータ	仕様			
入力コネクタ	IEC320 C14			
入力電圧範囲 (V rms)	200 ~ 240			
最大許容入力電圧範囲 (V rms)	180 ~ 264			
周波数範囲 (Hz)	50 ~ 60			
最大許容周波数範囲 (Hz)	47 ~ 63			
最大定格出力 (W)	1600			
最大定格スタンバイ出力 (W)	36			
公称入力電圧 (V rms)	100	120	208	230
公称入力電流 (A rms)	該当なし	該当なし	8.8	7.9
公称入力電圧の最大入力 (W)	該当なし	該当なし	1778	1758
公称入力電圧の最大入力 (VA)	該当なし	該当なし	1833	1813
最小定格効率 (%) ¹	該当なし	該当なし	90	91
最小定格力率 ²	該当なし	該当なし	0.97	0.97
最大突入電流 (A ピーク)	30			
最大突入電流 (ms)	0.2			
最小ライドスルー時間 (ms) ²	12			

注:

- これは、80 Plus Platinum 認証を得るのに必要な最小定格です。認定値については <http://www.80plus.org/> [英語] で公開されているテストレポートを参照してください。
- 入力電圧のドロップアウト時、時間出力電圧は 100% 負荷の状態規制の範囲内に留まります

表 32 2300 W (AC) 電源ユニットの仕様

パラメータ	仕様			
入力コネクタ	IEC320 C20			
入力電圧範囲 (Vrms)	100 ~ 240			
最大許容入力電圧範囲 (Vrms)	90 ~ 264			
周波数範囲 (Hz)	50 ~ 60			
最大許容周波数範囲 (Hz)	47 ~ 63			
最大定格出力 (W) ¹	2300			
最大定格スタンバイ出力 (W)	36			
公称入力電圧 (Vrms)	100	120	208	230
公称入力電流 (Arms)	13	11	12	10.8
公称入力電圧の最大入力 (W)	1338	1330	2490	2480
公称入力電圧の最大入力 (VA)	1351	1343	2515	2505
最小定格効率 (%) ²	92	92	93	93
最小定格力率 ²	0.99	0.99	0.97	0.97
最大突入電流 (A ピーク)	30			
最大突入電流 (ms)	0.2			
最小ライドスルー時間 (ms) ³	12			

注:

- ローライン入力電圧 (100 ~ 127 V) で動作時の最大定格出力は 1200 W に制限されます。
- これは、80 Plus Titanium 認証を得るのに必要な最小定格です。認定値については <http://www.80plus.org/> [英語] で公開されているテストレポートを参照してください。
- 入力電圧のドロップアウト時、時間出力電圧は 100% 負荷の状態規制の範囲内に留まります



注：構成固有の電力仕様については、<http://ucspowercalc.cisco.com> にある Cisco UCS Power Calculator を使用してください。

コンプライアンス要件

C シリーズ サーバの規制準拠要件を [表 33](#) に示します。

表 33 UCS C シリーズの規制準拠要件

パラメータ	説明
適合規格	本製品は、指令 2014/30/EU および 2014/35/EU による CE マーキングに準拠しています。
安全性	UL 60950-1/62368-1 CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1/62368-1 IEC/EN 60950-1/62368-1 AS/NZS 62368.1 GB 4943.1-2022 CNS 15598-1:2020
EMC : エミッション	47CFR Part 15 (CFR 47) クラス A AS/NZS CISPR 32、クラス A CISPR32 クラス A EN55032 クラス A ICES003 クラス A VCCI-CISPR32 クラス A EN61000-3-2 EN61000-3-3 KS C 9832 クラス A EN 300386 クラス A
EMC : イミュニティ	EN55035 EN55024 CISPR24/35 EN300386 KS C 9835 IEC/EN61000-6-1

米国本社
Cisco Systems, Inc.
カリフォルニア州サンノゼ

アジア太平洋本社
Cisco Systems (USA), Pte. Ltd.
シンガポール

ヨーロッパ本社
Cisco Systems International BV
Amsterdam, The Netherlands

2023 年 11 月発行

© 2023 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/jp/go/trademarks をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。1175152207 10/23

